

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7 年 7 月		工事概要	園内施設整備	
契約番号	2025000679			造園工 1式	
路線名				園路広場工 A=381.7m2	
工事等名	泉官衙遺跡史跡公園園内施設整備工事			施設工 1式	
工事等場所	南相馬市 原町区泉字宮前 地内			植栽工 1式	
総工事費	当初請負		仕様概要	給水設備工 1式	
	当初設計			電気設備工 1式	
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2025000679)		
泉官衙遺跡史跡公園園内施設整備工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
造園工		
園路広場工		
施設工		
植栽工		
給水設備工		
電気設備工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名

最低制限価格の設定(算定)について

泉官衙遺跡史跡公園園内施設整備工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。
該当工事には のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用 = 最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92% + 消費税額

予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

☐ 水道工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 機器間接費) × 90% + 一般管理費(製作分 + 据付分) × 68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 据付間接費 + 設計技術費) × 90% + 一般管理費 × 68%

直接製作費: 製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

直接工事費: 据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

工事箇所位置図

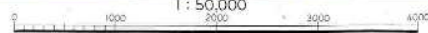
泉官衙遺跡

太平洋



凡 例

1:50,000



総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	D1 南相馬市 実施設計書 当初 20250000000 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.07.15(0) 1 土木工事 20250000000当初 泉官衙遺跡史跡公園園内施設整備工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正	40 09 公園 00 冬期割増なし 01 金銭の保証 00 補正なし 00 必要無し 01 4週8休以上 (通期)		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計 1
	3	作業日数集計 2
	4	作業日数集計 3
	5	作業日数集計 4
	6	作業日数集計 5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
造成工					Y100I002961
造成工					Y211Y002962
造成工					Y33K5000008
造成工					Y45W5000206
路体（築堤）盛土 2.5m以上4.0m未満 芝張用盛土	194.7	m3			SPA113 00 施工 第0 -0001号表
購入土 良質土（ほぐした土量）	259.0	m 3			T8350 00
積込（ルーズ） 発生土積込		m3			Y45W5000206
積込（ルーズ） 土砂 平均施工幅1m以上2m未満	215.7	m3			SPA125 00 施工 第0 -0002号表
土砂等運搬 発生土運搬		m3			Y45W5000201
土砂等運搬 標準 バックホ	215.7	m3			SPA105 00 施工 第0 -0003号表
整地		m3			Y45W5000203

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整地 残土受入れ地での処理	215.7	m3			SPA109 00 施工 第0 -0004号表
園路広場工					Y100P004430
園路広場工					Y21KY008521
園路広場工					Y32BM008522
園路広場工		式			Y4448008523
硬質土系舗装Aカラー 園路 カラーサンド同等品 サンドベージュ 表層 t100 路盤 t150 砂層 t150	381.7	m2			V1001 00 施工 第0 -0005号表
硬質土系舗装Aカラー 基壇 カラーサンド同等品 ライトブラウン 表層 t100 路盤 t150 砂層 t150	10.8	m2			V1002 00 施工 第0 -0008号表
硬質土系舗装Bカラー カラーサンド同等品 ライトブラウン 表層 t70 路盤 t180 砂層 t150	544.1	m2			V1003 00 施工 第0 -0010号表
硬質土系舗装Bカラー 基壇 カラーサンド同等品 こげ茶 表層 t70 路盤 t180 砂層 t150	51.1	m2			V1004 00 施工 第0 -0013号表
硬質土系舗装Cカラー 園路 カラーサンド同等品 サンドベージュ 表層 t50 路盤 t100 砂層 t100	154.5	m2			V1005 00 施工 第0 -0014号表
軟質土系舗装 良質土+中性固化材+塩化カルシウム 表層 t100 路盤 t100	219.2	m2			V1006 00 施工 第0 -0017号表
舗装止 杉板 t15 特一等 H100	362.4	m			V1007 00 施工 第0 -0023号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装止 杉板 t 15 特一等 H70	256.6	m			V1008 00 施工 第0 -0025号表
舗装止 杉板 t 15 特一等 H50	46.1	m			V1009 00 施工 第0 -0026号表
見切り材設置 スリムエッジ アンカー共	93.5	m			V1010 00 施工 第0 -0027号表
礫敷舗装 礫材粒径調整 バックホウによる分級 礫材粒径調整 径30~60	80.5	m3			F1006 00
積込 (ルーズ) 岩塊・玉石 平均施工幅1m以上2m未満	80.5	m3			SPA125 00 施工 第0 -0028号表
土砂等運搬 標準 バックホ	80.5	m3			SPA105 00 施工 第0 -0003号表
礫敷舗装 一般部 防草シート 路盤RC40- t 100 路盤C30- t 40 礫敷 t 40	1,512.9	m2			V1011 00 施工 第0 -0029号表
歩車境界縁石 A W150/190×H200×L600	13.3	m			V1012 00 施工 第0 -0032号表
歩車道境界ブロック 車両乗入 W160/170×H100×L600	10.5	m			SPD241 00 施工 第0 -0034号表
歩車道境界ブロック 1段切下げ W150~160/170×H100~200×L600	1.2	m			SPD241 00 施工 第0 -0035号表
地先境界ブロック 設置 A種 (120×120×600)	7.6	m			SPD245 00 施工 第0 -0036号表
薄層カー舗装工(樹脂系すべり止め) (材料含) 樹脂系すべり止め RPN-301 車道 S1(施工規模 100m2未満)	8.9	m2			S7313 00 施工 第0 -0037号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吸出し防止材設置 合繊不織布 t 10	1.28	m2			SPA831 00 施工 第0 -0038号表
床掘り 土砂 小規模	161.7	m3			SPA161 00 施工 第0 -0039号表
埋戻し 小規模 土砂	0.3	m3			SPA181 00 施工 第0 -0040号表
施設工	1	式			Y1999
施設工					Y31KZ008528
施設工					Y33K6000001
施設工		式			Y45W6000017
正殿柱位置表示PC擬石工 身舎柱 φ420×H200	12	基			V2001 00 施工 第0 -0041号表
正殿柱位置表示PC擬石工 廂柱 φ270×H200	20	基			V2002 00 施工 第0 -0043号表
柱跡表示工 擬石 北殿・東殿・西殿 φ300×H400 PC擬木	38	基			V2003 00 施工 第0 -0044号表
柱跡表示工 擬石 北殿・東殿・西殿 φ300×H200	20	基			V2004 00 施工 第0 -0047号表
西殿西スロープ工 W2400×L2400	1	箇所			V2006 00 施工 第0 -0048号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
西殿東スロープエ W2400×L3100	1	箇所			V2007 00 施工 第0 -0052号表
標識工 300×300×2400 石柱 設置費共	1	基			V2011 00 施工 第0 -0053号表
車止めA工 園路内 φ200/120×H450 擬石	6	基			V2012 00 施工 第0 -0055号表
車止めB工 φ220×H470 素焼調	5	基			V2013 00 施工 第0 -0058号表
ブラ杭工 450×45角	9	基			V2014 00 施工 第0 -0060号表
床掘り 土砂 小規模	0.9	m3			SPA161 00 施工 第0 -0039号表
埋戻し 小規模 土砂	0.2	m3			SPA181 00 施工 第0 -0040号表
植栽工	1	式			Y1999
植栽工					Y213D005154
植栽工					Y32A1005155
植栽工		式			Y45KV005156
植栽帯盛土A工 芝張	44.6	m			V3001 00 施工 第0 -0061号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽帯盛土A-2工 芝張	28.3	m			V3002 00 施工 第0 -0062号表
植栽帯盛土B工 芝張	18.1	m			V3003 00 施工 第0 -0063号表
植栽帯盛土B調整部 芝張 植生土のう積み	7.3	m			V3004 00 施工 第0 -0064号表
ヤマツツジ植栽 H1.0 W0.5	138	本			V3005 00 施工 第0 -0066号表
マサキ植栽	34	本			V3006 00 施工 第0 -0067号表
公園植栽支柱設置工(布掛(竹)生垣形)材料含 中木 生垣形 S O (施工規模 3.0m以上) H1.0m内外	86	m			S7136 00 施工 第0 -0068号表
ピートモス B級 国産 積算資料P566	151.4	k g			F6003 00
パーク堆肥 樹皮 積算資料P566	292.4	k g			F6004 00
芝張工 平坦面 野芝・全面	1,947.1	m2			V3007 00 施工 第0 -0069号表
床掘り 土砂 小規模	15.3	m3			SPA161 00 施工 第0 -0039号表
埋戻し 小規模 土砂	37.4	m3			SPA181 00 施工 第0 -0040号表
購入土 良質土 (ほぐした土量)	49.7	m 3			T8350 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水設備工					Y1999
	1	式			
給水設備工					Y213G005235
給水設備工					Y32B3005261
給水設備工					Y44SV005262
		式			
水道用ポリエチレン管 油脂浸透防止対策済 50A					V4001 00
	12	m			施工 第0 -0070号表
水道用ポリエチレン管 油脂浸透防止対策済 25A					V4002 00
	12.8	m			施工 第0 -0071号表
水道用ポリエチレン管 油脂浸透防止対策済 20A					V4003 00
	4	m			施工 第0 -0072号表
管路土工 クリンカアッシュ埋戻し					V4004 00
	12.8	m			施工 第0 -0073号表
埋設標識シート工 150幅 2倍折込					V4005 00
	12.8	m			施工 第0 -0075号表
屋外消火栓工（総合型） 40A 水道直結型					V4006 00
	1	基			施工 第0 -0076号表
止水栓 25A 弁きょう共					V4007 00
	1	基			施工 第0 -0079号表
量水器ボックス パルス式量水器用 25A 逆止弁共					V4008 00
	1	基			施工 第0 -0080号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
散水栓ボックス WB・20A 水抜き水栓共	4	基			V4009 00 施工 第0 -0081号表
水抜栓 量水器付近 一般形 25A 0.3m ドレン樹共	1	基			V4010 00 施工 第0 -0082号表
水抜栓 水飲み予定位置 一般形 20A 0.3m ドレン樹共	1	基			V4011 00 施工 第0 -0083号表
キャップ止 パイプエンド 20A	1	箇所			V4012 00 施工 第0 -0084号表
床掘り 土砂 小規模	3.6	m3			SPA161 00 施工 第0 -0039号表
埋戻し 小規模 土砂	1.2	m3			SPA181 00 施工 第0 -0040号表
電気設備工					Y100R004470
電気設備工					Y211Y004475
電気設備工					Y3200004476
電気設備工		式			Y4400004477
鋼管ポール柱 L7.4m (地上H6.16m)	1	基			V5001 00 施工 第0 -0085号表
引込開閉器盤 (屋外形) MCCB3P 100AF×1個	1	基			V5002 00 施工 第0 -0086号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩ビブロック ハンドホール内セパレーター用 VP:250×250×100 標準型 積算資料P717	5	基			F8005 00
接地極（銅覆銅棒打込式） 14φ×1.5m～3連 建築コストP56	1	箇所			F8006 00
接地極埋設標 金属製 接地抵抗測定共 建築コストP56	1	枚			F8007 00
合成樹脂製可とう電線管 （PF単層） 隠ぺい・埋込配管16mm 建築施工P46	3	m			F8008 00
EM-CETケーブル 38mm2FEP内（PF・CD） 外径7.3mm	90.9	m			V5003 00 施工 第0 -0087号表
600V二種ビニル絶縁電線 （HIV）（PF管内） 外径5mm 5.5mm2	4	m			V5004 00 施工 第0 -0088号表
EM-HPケーブル 1.2mm-5P FEP内（PF・CD） 外径10.5mm	52.9	m			V5005 00 施工 第0 -0089号表
床掘り 土砂 小規模	1.5	m3			SPA161 00 施工 第0 -0039号表
埋戻し 小規模 土砂	1.2	m3			SPA181 00 施工 第0 -0040号表
直接工事費					
安全費		式			Z0008
工事名標示板費		基			Y2YK2007379

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事名標示板加算額					S9990 00
	1	基			施工 第0 -0090号表
共通仮設費（率）					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費					
		式			
工事価格					
工事価格（まるめ）					
消費税等相当額					
		式			
工事費計					

施工パッケージ内訳表

頁0-0012

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
路体（築堤）盛土 SPA113 2.5m以上4.0m未満 標準単価： 827.03 機械構成比： 15.86% 労務構成比： 75.54% 材料構成比： 8.60% 市場単価構成比： 0.00%	芝張用盛土		施工 第0 -0001号表 1 m3	
K0048 バックホウ〔クローラ・後方超小旋回〕賃料		8.30%	TPK0048 バックホウ〔クローラ・後方超小旋回〕賃料	
K2610 振動ローラ（舗装用・搭乗式コンパクト型） 3－4 t		7.56%	TPK2610 振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		66.88%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.66%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		8.60%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 2.5m以上4.0m未満 D=1 土木工事標準積算基準 II－1－②－2 2				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0013

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
積込（ルーズ） SPA125 土砂 標準単価： 295.92 機械構成比： 28.47% 労務構成比： 58.52% 材料構成比： 13.01% 市場単価構成比： 0.00%	平均施工幅1m以上2m未満		施工 第0 -0002号表 1 m3	
MA192 バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス1次		28.47%	TPMA192 バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス1次	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		58.52%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		13.01%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=3 平均施工幅1m以上2m未満 C=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-②-27				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0014

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 793.46 機械構成比： 45.59% 労務構成比： 39.52% 材料構成比： 14.89% 市場単価構成比： 0.00%	パック材 45.59%		施工 第0-0003号表 1 m3	
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		45.59%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.793]		39.52%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.89%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 標準 B=3 パック材 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1 DID区間なし E=6 2.0km以下				
F=1 土木工事標準積算基準 II-1-②-13				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

頁0-0015

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質土系舗装Aカラー V1001 カラーサンド同等品 サンドベージュ 表層 t 100 路盤 t 150 砂層 t 150	園路 100	m2			施工 第0 -0005号表 特単単価適用日：07年07月15日
フィルター層 140mm以上160mm未満 t150	100	m2			SPD045 施工 第0-0006号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚150mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0007号表
透水性高炉スラグ舗装 カラーサンド同等品 標準色 t 100	100	m2			F1002
カッター目地 W=5mm、t =35mm	100	m2			F2001
目地充填 舗装厚10 c m用	100	m2			F2002
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工パッケージ内訳表

頁0-0017

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
フィルター層 SPD045 140mm以上160mm未満 標準単価： 969.78 機械構成比： 4.03% 労務構成比： 69.32% 材料構成比： 26.65% 市場単価構成比： 0.00%	t150		施工 第0 -0006号表 1	m2
KQ048 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		2.49%	TPKQ048 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		1.43%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.72%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		19.37%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.828]		17.59%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.63%	TPR0010 土木一般世話役	
T8392 フィルター材 クッション用材2500 (K128) 代入		24.68%	TPT8302 再生砂	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.92%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=6 140mm以上160mm未満 B=1 土木工事標準積算基準 IV-1-③-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0018

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（歩道部） SPD006 全仕上り厚150mm 標準単価： 784.89 機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0007号表 1 m2	
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積0. 1 1m3 (平積0. 0 8m3)		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		26.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシャラン RC-40		19.41%	TPT8454 再生クラッシャラン RC-40	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.03%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=150 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシャラン RC-40 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-1-①-5				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質土系舗装Aカラー V1002 カラーサンド同等品 ライトブラウン 表層 t 100 路盤 t 150 砂層 t 150	基壇 100	m2			施工 第0 -0008号表 特単単価適用日：07年07月15日
フィルター層 140mm以上160mm未満 t 150	100	m2			SPD045 施工 第0-0009号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚150mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0007号表
透水性高炉スラグ舗装 カラーサンド同等品 標準色 t 100	100	m2			F1002
カッター目地 W=5mm、 t =35mm	100	m2			F2001
目地充填 舗装厚10 c m用	100	m2			F2002
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工パッケージ内訳表

頁0-0020

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
フィルター層 SPD045 140mm以上160mm未満 標準単価： 969.78	t 150		施工 第0 -0009号表 1	m2
機械構成比： 4.03%	労務構成比： 69.32%	材料構成比： 26.65%	市場単価構成比： 0.00%	
KQ048 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		2.49%	TPKQ048 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		1.43%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.72%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		19.37%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.828]		17.59%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.63%	TPR0010 土木一般世話役	
T8392 フィルター材 クッション用材2500 (K128) 代入		24.68%	TPT8302 再生砂	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.92%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=6 B=1 140mm以上160mm未満 土木工事標準積算基準 IV-1-③-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質土系舗装Bカラー V1003 カラーサンド同等品 ライトブラウン 表層 t 70 路盤 t 180 砂層 t 150	100	m2			施工 第0 -0010号表 特単単価適用日：07年07月15日
基面整正	100	m2			SPA169 施工 第0-0011号表
フィルター層 140mm以上160mm未満 t150	100	m2			SPD045 施工 第0-0006号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚180mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0012号表
透水性高炉スラグ舗装 カラーサンド同等品 標準色 t 70	100	m2			F1003
カッター目地 W=5mm t =25mm	100	m2			F2003
目地充填 舗装厚7cm用	100	m2			F2004
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
基面整正 SPA169 標準単価： 478 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0011号表 1	m2
普通作業員 [0.828] R0030		100.00%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-7				

施工パッケージ内訳表

頁0-0023

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（歩道部） SPD006 全仕上り厚180mm 標準単価： 784.89 機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0012号表 1 m2	
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積0. 1 1m3 (平積0. 0 8m3)		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		26.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシャラン RC-40		19.41%	TPT8454 再生クラッシャラン RC-40	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.03%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=180 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシャラン RC-40 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-1-①-5				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質土系舗装Bカラー V1004 カラーサンド同等品 こげ茶 表層 t 70 路盤 t 180 砂層 t 150	基壇 100	m2			施工 第0 -0013号表 特単単価適用日：07年07月15日
基面整正	100	m2			SPA169 施工 第0-0011号表
フィルター層 140mm以上160mm未満 t150	100	m2			SPD045 施工 第0-0006号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚180mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0012号表
透水性高炉スラグ舗装 カラーサンド同等品 特色 t 70	100	m2			F1004
カッター目地 W=5mm t =25mm	100	m2			F2003
目地充填 舗装厚7 c m用	100	m2			F2004
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質土系舗装Cカラー V1005 カラーサンド同等品 サンドベージュ 表層 t 50 路盤 t 100 砂層 t 100	園路 100	m2			施工 第0 -0014号表 特単単価適用日：07年07月15日
フィルター層 100mm以上120mm未満 t100	100	m2			SPD045 施工 第0-0015号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚100mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0016号表
透水性高炉スラグ舗装 カラーサンド同等品 特色 t 50	100	m2			F1005
カッター目地 W=5mm t =15mm	100	m2			F2005
目地充填 舗装厚5 c m用	100	m2			F2006
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工パッケージ内訳表

頁0-0026

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
フィルター層 SPD045 100mm以上120mm未満 標準単価： 905.94	t100		施工 第0 -0015号表 1	m2
機械構成比： 4.32%	労務構成比： 74.20%	材料構成比： 21.48%	市場単価構成比： 0.00%	
K0048 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		2.67%	TPK0048 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		1.53%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0020 特殊作業員 [0.769]		21.10%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		20.73%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.828]		18.83%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		11.38%	TPR0010 土木一般世話役	
T8392 フィルター材 クッション用材2500 (K128) 代入		19.37%	TPT8302 再生砂	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.05%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=4 B=1 100mm以上120mm未満 土木工事標準積算基準 IV-1-③-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0027

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（歩道部） SPD006 全仕上り厚100mm 標準単価： 784.89 機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0016号表 1 m2	
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積0. 1 1m3 (平積0. 0 8m3)		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		26.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40		19.41%	TPT8454 再生クラッシュラン RC-40	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.03%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=100 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシュラン RC-40 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 IV-1-①-5				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0028

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軟質土系舗装 V1006 良質土+中性固化材+塩化カルシウム 表層 t 100 路盤 t 100	100	m2			施工 第0 -0017号表 特単単価適用日：07年07月15日
中性固化材 木質パルプスラッジ灰系 シエエス化学工業 パルコート同等品 積算資料 P530	1.2	t			F5001
混合土 仮置き土混合攪拌2回	13.3	m3			V1100 施工 第0-0018号表
埋戻し 現場制約あり 土砂	10	m3			SPA181 施工 第0-0020号表
購入土 良質土（ほぐした土量）	13.3	m 3			T8350
塩化カルシウム散布	0.12	t			V1102 施工 第0-0021号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚100mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0016号表
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0029

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
混合土 V1100 仮置き土混合攪拌2回	10	m3			施工 第0 -0018号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 [0.775]	0.19	人			R0010
普通作業員 [0.828]	0.56	人			R0030
バックホウ運転 排出ガス対策型 クローラー型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.5m3	0.56	日			V1101 施工 第0-0019号表
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

バックホウ運転 V1101 排出ガス対策型 クローラー型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.5m3	1	日			施工 第0 -0019号表 特単単価適用日：07年07月15日
運転手（特殊） [0.778]	1	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	45	L			T0250
機械損料 排出ガス対策型（第1次）・クローラ型 クレーン付2.9t吊・山積0.5（平積0.4）m3 建設機械等損料算定表P54	1.27	日			F3001
*** 単位当たり ***	1	日			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0030

標準単価：機械構成比：労務構成比：材料構成比：市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 現場制約あり 標準単価：7,300.3 機械構成比：0.26% 労務構成比：99.38% 材料構成比：0.36% 市場単価構成比：0.00%	土砂		施工 第0 -0020号表 1	m3
タンバ及びランマ 60～80kg K2620		0.26%	タンバ賃料 TPK2620	
普通作業員 [0.828] R0030		88.41%	普通作業員 TPR0030	
特殊作業員 [0.769] R0020		10.97%	特殊作業員 TPR0020	
レギュラーガソリン スタンド T0240		0.36%	ガソリン レギュラー スタンド TPT0240	
*** 単位当たり ***				
A=6 現場制約あり B=1 土砂 C=1 締固めあり E=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-12				

施 工 内 訳 表

頁0-0031

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩化カルシウム散布 V1102	1	t			施工 第0 -0021号表 特単単価適用日：07年07月15日
普通作業員 [0.828]	6.7	人			R0030
塩化カルシウム(25kg)/袋 積算資料P338	1	t			TS562
トラック運転 2t積	1	日			V1103 施工 第0-0022号表
*** 単位当たり ***	1	t			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
トラック運転 V1103 2t積	1	日			施工 第0 -0022号表 特単単価適用日：07年07月15日
運転手（一般） [0.793]	0.4	人			R0130
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	8	L			T0250
機械損料 トラック2 t 建設機械等損料算定表P67	2.21	日			F3002
*** 単位当たり ***	1	日			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0032

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装止 V1007 杉板 t15 特一等 H100	100	m			施工 第0 -0023号表 特単単価適用日：07年07月15日
杉板 厚15 幅150~210 特一等 積算資料P242	0.15	m3			F2012
型枠設置工	10	m2			V1104 施工 第0-0024号表
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
型枠設置工 V1104	10	m2			施工 第0 -0024号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 [0.775]	0.07	人			R0010
型わく工 [0.898]	0.67	人			R0260
普通作業員 [0.828]	0.27	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0033

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装止 V1008 杉板 t15 特一等 H70	100	m			施工 第0 -0025号表 特単単価適用日：07年07月15日
杉板 厚15 幅90 特一等 積算資料P242	0.105	m3			F2013
型枠設置工	7	m2			V1104 施工 第0-0024号表
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
舗装止 V1009 杉板 t15 特一等 H50	100	m			施工 第0 -0026号表 特単単価適用日：07年07月15日
杉板 厚15 幅90 特一等 積算資料P242	0.075	m3			F2013
型枠設置工	5	m2			V1104 施工 第0-0024号表
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
見切り材設置 V1010 スリムエッジ アンカー共	10	m			施工 第0 -0027号表 特単単価適用日：07年07月15日
見切り材 スリムエッジ 建設物価 P451	10	m			F2007
普通作業員 [0.828]	0.1	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工パッケージ内訳表

頁0-0035

標準単価：機械構成比：労務構成比：材料構成比：市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
積込（ルーズ） SPA125 岩塊・玉石 標準単価：364.1 機械構成比：28.47% 労務構成比：58.52% 材料構成比：13.01% 市場単価構成比：0.00%	平均施工幅1m以上2m未満		施工 第0 -0028号表 1	m3
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス1次 MA192		28.47%	バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス1次 TPMA192	
運転手（特殊） 〔0.778〕 R0120		58.52%	運転手（特殊） TPR0120	
軽油 ミニローリー（パトロール給油） T0250		13.01%	軽油 1. 2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=2 岩塊・玉石 B=3 平均施工幅1m以上2m未満 C=1 土木工事標準積算基準 II-1-②-27				

施 工 内 訳 表

頁0-0036

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
礫敷舗装 一般部 V1011 防草シート 路盤RC40- t 100 路盤C30- t 40 礫敷 t 40	100	m2			施工 第0 -0029号表 特単単価適用日：07年07月15日
防草シート敷設 不織布長繊維系 厚0.5mm程度	100	m2			V1105 施工 第0-0030号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚100mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0016号表
下層路盤（歩道部） 全仕上り厚40mm 1層施工	100	m2			SPD006 施工 第0-0031号表
クラッシャーラン C-30 30~0mm	6	m3			T8320
礫敷設 t 40 河原礫 径30~60 敷並べ	100	m2			F1007
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施 工 内 訳 表

頁0-0037

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0038

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（歩道部） SPD006 全仕上り厚40mm 標準単価： 784.89 機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0031号表 1 m2	
K9220 小型バックホウ [クローラ型] 山積0. 1 1m3 (平積0. 0 8m3)		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [クローラ型] 賃料	
K2610 振動ローラ (舗装用・搭乗式コンパクト型) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		26.32%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0020 特殊作業員 [0.769]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8321 クラッシャラン C - 4 0 4 0 ~ 0 mm		19.41%	TPT8454 再生クラッシャラン R C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		2.03%	TPT0250 軽油 1. 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=40 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=1 クラッシャラン C - 4 0 E=2 機械費, 労務費のみ(1日未満用) F=1 土木工事標準積算基準 IV- 1 - ① - 5				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0039

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0040

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
歩車道境界ブロック SPD241 設置 標準単価： 7,103.3 機械構成比： 0.34% 労務構成比： 67.92% 材料構成比： 31.74% 市場単価構成比： 0.00%	A種(150/170×200×600)		施工 第0-0033号表 1 m	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	K9203	0.34%	バックホウ [クローラ型] 賃料	TPK9203
普通作業員 [0.828]	R0030	25.89%	普通作業員	TPR0030
土木一般世話役 [0.775]	R0010	13.56%	土木一般世話役	TPR0010
特殊作業員 [0.769]	R0020	12.18%	特殊作業員	TPR0020
型わく工 [0.898]	R0260	10.06%	型わく工	TPR0260
歩車道境界ブロック A II E a A J I S 型 150/170×200×600 44kg	T1100	21.25%	歩車道境界ブロック A 150/170×200×600	TPT1100
生コンクリート ⑦ 18-3-25 (20) -60%-C265	T8650	9.43%	生コンクリート 18-8-25 高炉 W/C60%	TPT8251
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40	T8454	0.75%	再生クラッシュラン RC-40	TPT8454
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	0.31%	軽油 1.2号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0041

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0042

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
歩車道境界ブロック SPD241 車両乗入 標準単価： 7,103.3 機械構成比： 0.34% 労務構成比： 67.92% 材料構成比： 31.74% 市場単価構成比： 0.00%	W160/170×H100×L600		施工 第0 -0034号表 1 m	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	K9203	0.34%	バックホウ [クローラ型] 賃料	TPK9203
普通作業員 [0.828]	R0030	25.89%	普通作業員	TPR0030
土木一般世話役 [0.775]	R0010	13.56%	土木一般世話役	TPR0010
特殊作業員 [0.769]	R0020	12.18%	特殊作業員	TPR0020
型わく工 [0.898]	R0260	10.06%	型わく工	TPR0260
歩車境界縁石 乗入 W160/170×H100×L600	F2010	21.25%	歩車道境界ブロック A 150/170×200×600	TPT1100
生コンクリート ⑦ 18-3-25 (20) -60%-C265	T8650	9.43%	生コンクリート 18-8-25 高炉 W/C60%	TPT8251
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40	T8454	0.75%	再生クラッシュラン RC-40	TPT8454
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	0.31%	軽油 1.2号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1 設置 B=1 A種(150/170×200×600) C=1 基礎碎石あり D=1 均し基礎コンクリートあり E=2 養生工あり				
F=2 再生クラッシャー RC-40 G=2 高炉 H=18 18-3-25(20)-60%-C265 I=1 小型車割増なし J=1 冬期割増なし				
K=1 土木工事標準積算基準 IV-2-③-2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0044

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
歩車道境界ブロック SPD241 1段切下げ 標準単価： 7,103.3 機械構成比： 0.34% 労務構成比： 67.92% 材料構成比： 31.74% 市場単価構成比： 0.00%	W150~160/170×H100~200×L600		施工 第0 -0035号表 1 m	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3) K9203		0.34%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
普通作業員 [0.828] R0030		25.89%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.775] R0010		13.56%	土木一般世話役 TPR0010	
特殊作業員 [0.769] R0020		12.18%	特殊作業員 TPR0020	
型わく工 [0.898] R0260		10.06%	型わく工 TPR0260	
歩車境界縁石 1段切下げ W150~160/170×H100~200×L600 F2011		21.25%	歩車道境界ブロック A 150/170×200×600 TPT1100	
生コンクリート ⑦ 18-3-25 (20) -60%-C265 T8650		9.43%	生コンクリート 18-8-25 高炉 W/C60% TPT8251	
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40 T8454		0.75%	再生クラッシュラン RC-40 TPT8454	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		0.31%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

頁0-0045

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

20250000000	南 相 馬 市	金 抜 き
-------------	---------	-------

施工パッケージ内訳表

頁0-0046

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
地先境界ブロック SPD245 設置 標準単価： 6,136.1 機械構成比： 0.34% 労務構成比： 77.05% 材料構成比： 22.61% 市場単価構成比： 0.00%	A種(120×120×600)		施工 第0-0036号表 1 m	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3)	K9203	0.34%	バックホウ [クローラ型] 賃料	TPK9203
普通作業員 [0.828]	R0030	29.24%	普通作業員	TPR0030
土木一般世話役 [0.775]	R0010	15.42%	土木一般世話役	TPR0010
特殊作業員 [0.769]	R0020	13.74%	特殊作業員	TPR0020
型わく工 [0.898]	R0260	11.65%	型わく工	TPR0260
地先境界A JIS A 5371 附4 幅120×高120×長600 21kg/個	T1010	12.50%	地先境界ブロック A 120×120×600	TPT1010
生コンクリート ⑦ 18-3-25 (20)-60%-C265	T8650	9.05%	生コンクリート 18-8-25 高炉 W/C60%	TPT8251
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC-40	T8454	0.75%	再生クラッシュラン RC-40	TPT8454
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	0.31%	軽油 1.2号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0047

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0048

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0049

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
吸出し防止材設置 SPA831 合繊不織布 t 10 標準単価： 883.03 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 24.17% 材料構成比： 75.83% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0038号表 1 m2	
R0030 普通作業員 [0.828]		20.57%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		3.60%	TPR0010 土木一般世話役	
T0862 吸出し防止材 合繊不織布 t = 1 0 mm 9 . 8 K N / m		75.83%	TPT0862 吸出し防止材 合繊不織布 t = 1 0 mm 9 . 8 K N / m	
* * * 単位当たり * * *				
A=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ - 2 - ⑪ - 1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0050

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 2,170.7 機械構成比： 19.87% 労務構成比： 72.99% 材料構成比： 7.14% 市場単価構成比： 0.00%	小規模 19.87%		施工 第0 -0039号表 1	m3
MA204 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次		19.87%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次	
R0120 運転手（特殊） 〔0.778〕		39.96%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 〔0.828〕		33.03%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		7.14%	TPT0250 軽油 1. 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=5 上記以外(小規模) E=1 全ての費用 G=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-1-③-4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0051

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 小規模 標準単価： 3,871.1 機械構成比： 9.48% 労務構成比： 86.47% 材料構成比： 4.05% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0 -0040号表 1 m3	
MA204 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次		8.90%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次	
MC271 タンバ及びランマ〔ランマ〕 質量 60～80kg		0.58%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 [0.828]		49.42%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.17%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.778]		17.88%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		3.20%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.85%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5 上記以外(小規模) B=1 土砂 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0052

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
正殿柱位置表示PC擬石工 V2001 身舎柱 φ420×H200	10	基			施工 第0 -0041号表 特単単価適用日：07年07月15日
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40 t100	1.38	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
擬石コンクリート 上面茶系擬石ショット仕上げ φ420×H200	10	個			F4001
設置費 φ420×H200	10	個			F4002
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工パッケージ内訳表

頁0-0053

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
基礎碎石 SPA391 7.5cmを超え12.5cm以下 標準単価： 1,206.1 機械構成比： 5.58% 労務構成比： 77.45% 材料構成比： 16.97% 市場単価構成比： 0.00%	再生クラッシャーラン R C - 4 0		施工 第0 -0042号表 1 m2	
バックホウ [クローラ型] 山積0.8m3 (平積0.6m3) K9203		5.55%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
普通作業員 [0.828] R0030		37.13%	普通作業員 TPR0030	
特殊作業員 [0.769] R0020		15.71%	特殊作業員 TPR0020	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		14.81%	運転手 (特殊) TPR0120	
土木一般世話役 [0.775] R0010		9.27%	土木一般世話役 TPR0010	
再生骨材 (骨材) クラッシャーラン R C - 4 0 T8454		11.93%	再生クラッシャーラン R C - 4 0 TPT8454	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		5.01%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=2 7.5cmを超え12.5cm以下 C=2 再生クラッシャーラン R C - 4 0 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 II-2-②-2				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0054

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0055

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
柱跡表示工 擬石 V2003 北殿・東殿・西殿 φ300×H400 PC擬木	10	基			施工 第0-0044号表 特単単価適用日：07年07月15日
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40 t100	4.9	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
型枠 一般型枠 小型構造物	4.8	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 パッキ材(クレーン機能付)打設	0.58	m3			SPB401 施工 第0-0046号表
PC擬木 φ300×L700 PC擬木	10	本			F4005
運搬費 φ300×L700 PC擬木	10	本			F4006
普通作業員 [0.828]	1.4	人			R0030
ラフテレーンクレーン作業料 4.9t吊 オペレーター共 積算資料P285	0.1	日			F4019
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工パッケージ内訳表

頁0-0056

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
型枠 SPB431 一般型枠 標準単価： 8,483.4 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	小型構造物 0.00%	100.00%	施工 第0 -0045号表 1	m2
型わく工 [0.898]	R0260	43.77%	型わく工 TPR0260	
普通作業員 [0.828]	R0030	31.27%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.775]	R0010	11.92%	土木一般世話役 TPR0010	
*** 単位当たり ***				
A=1 一般型枠 B=2 小型構造物 C=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-4-②-2				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0057

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 34,650 機械構成比： 3.69% 労務構成比： 37.88% 材料構成比： 58.43% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0046号表 1 m3	
K9205 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚﾝ機能付] 2.9 t 吊 山積0.8 m3 (平積0.6 m3)		3.49%	TPK9205 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚﾝ付] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		11.17%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		10.01%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		7.75%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		6.47%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T8650 生コンクリート ⑦ 18-3-25 (20) -60%-C265		56.64%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.69%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 小型構造物 B=3 バックホウ(ｸﾚﾝ機能付)打設 E=2 一般養生 K=2 高炉 L=18 18-3-25(20)-60%-C265				
M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0058

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
柱跡表示工 擬石 V2004 北殿・東殿・西殿 φ300×H200	10	基			施工 第0 -0047号表 特単単価適用日：07年07月15日
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40 t100	0.71	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
擬石コンクリート 上面茶系擬石ショット仕上げ φ300×H200	10	個			F4007
設置費 φ300×H200	10	個			F4008
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0059

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
西殿西スロープエ V2006 W2400×L2400	10	箇所			施工 第0-0048号表 特単単価適用日：07年07月15日
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40 t100	60	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 バック材(クレーン機能付)打設 均しコンクリート	3	m3			SPB401 施工 第0-0049号表
型枠 一般型枠 小型構造物	19.2	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 バック材(クレーン機能付)打設	14.4	m3			SPB401 施工 第0-0050号表
異形棒鋼 SD345 D16~D25	1.37	t			T0341
鉄筋加工組立 法面作業 土木施工単価P8 法面作業67000*1.15	1.32	t			F4020
薄層カー舗装工(樹脂系すべり止め) (材料含) 樹脂系すべり止め RPN-301 車道 S1(施工規模 100m2未満)	57.6	m2			S7313 施工 第0-0051号表
素地ごしらえ コンクリート面 A種 建築コストP342	6	m2			F4009
耐候性塗料塗り DP A種 建築コストP344	6	m2			F4010
*** 合 計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0060

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 33,754 機械構成比：			施工 第0-0049号表 1 バックホウ(クレーン機能付)打設 標準単価： 33,754 機械構成比： 3.79% 労務構成比： 35.68% 材料構成比： 60.53% 市場単価構成比：	m3 0.00%
K9205 バックホウ [クローラ型・クレーン機能付] 2.9 t 吊 山積 0.8 m3 (平積 0.6 m3)		3.58%	TPK9205 バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料	
R0020 特殊作業員 [0.769]		10.28%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [0.828]		9.55%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		7.10%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		6.64%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T8650 生コンクリート ⑦ 18-3-25 (20) -60%-C265		58.70%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.73%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 無筋・鉄筋構造物 B=3 バックホウ(クレーン機能付)打設 E=2 一般養生 K=2 高炉 L=18 18-3-25(20)-60%-C265				
M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0061

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 34,650 機械構成比： 3.69% 労務構成比： 37.88% 材料構成比： 58.43% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0050号表 1 m3	
K9205 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付] 2.9 t 吊 山積0.8 m3 (平積0.6 m3)		3.49%	TPK9205 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ付] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.828]		11.17%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		10.01%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		7.75%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.778]		6.47%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T8710 生コンクリート ⑬-2 24-12-40-55%		56.64%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.69%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 小型構造物 B=3 バックホウ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 E=2 一般養生 K=2 高炉 L=22 24-12-40-55%				
M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0062

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0063

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
西殿東スロープエ V2007 W2400×L3100	10	箇所			施工 第0-0052号表 特単単価適用日：07年07月15日
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャーラン RC-40 t 100	77.5	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 パッキ材(クレーン機能付)打設 均しコンクリート	3.88	m3			SPB401 施工 第0-0049号表
型枠 一般型枠 小型構造物	27.5	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 パッキ材(クレーン機能付)打設	18.6	m3			SPB401 施工 第0-0050号表
異形棒鋼 SD345 D16~D25	1.77	t			T0341
鉄筋加工組立 法面作業 土木施工単価P8 法面作業67000*1.15	1.7	t			F4020
薄層カー舗装工(樹脂系すべり止め) (材料含) 樹脂系すべり止め RPN-301 車道 S1(施工規模 100m2未満)	74.4	m2			S7313 施工 第0-0051号表
素地ごしらえ コンクリート面 A種 建築コストP342	7.8	m2			F4009
耐候性塗料塗り DP A種 建築コストP344	7.8	m2			F4010
*** 合 計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0064

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
標識工 V2011 300×300×2400 石柱 設置費共	10	基			施工 第0-0053号表 特単単価適用日：07年07月15日
標識（設置費共） 300×300×2400 台石付き 白御影石・文字彫刻共 設置費共	10	基			F4013
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャーラン RC-40 t 100	10	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 バック材(クレーン機能付)打設 均しコンクリート	0.5	m3			SPB401 施工 第0-0049号表
型枠 一般型枠 小型構造物	5.4	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 人力打設	1.22	m3			SPB401 施工 第0-0054号表
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工パッケージ内訳表

頁0-0065

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 37,056 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 47.07% 材料構成比： 52.93% 市場単価構成比： 0.00%	単価(積算地区) 人力打設 0.00%	構成比 47.07%	施工 第0 -0054号表 1 m3	単価(東京地区) m3 0.00%
R0030 普通作業員 [0.828]		29.15%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		8.50%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0.769]		7.20%	TPR0020 特殊作業員	
T8650 生コンクリート ⑦ 18-3-25(20)-60%-C265		52.93%	TPTC618 生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%	
*** 単位当たり ***				
A=2 小型構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=1 現場内小運搬あり K=2 高炉				
L=18 18-3-25(20)-60%-C265 M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 II-4-①-4				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0066

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
車止めA工 V2012 園路内 φ200/120×H450 擬石	10	基			施工 第0-0055号表 特単単価適用日：07年07月15日
車止めA テイキン TPN-002D 50 k g φ200/120×H450 擬石	10	基			F4015
基礎ブロック テイキン BDN-290 48 k g φ290×H300	10	基			F4016
プレキャスト集水樹 据付 50kg以上80kg以下 ブロック据付工	10	基			SPA601 施工 第0-0056号表
プレキャスト集水樹 据付 50kg以上80kg以下	10	基			SPA601 施工 第0-0057号表
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工パッケージ内訳表

頁0-0067

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
プレキャスト集水桧 SPA601 据付 標準単価： 3,118.2 機械構成比： 18.10% 労務構成比： 78.09% 材料構成比： 3.81% 市場単価構成比： 0.00%	50kg以上80kg以下		施工 第0 -0056号表 1	基
K9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付] 1.7 t 吊 山積0. 2 8m3 (平積0. 2 m3)		17.08%	TPK9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ付] 賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0. 778]		62. 24%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0. 828]		6. 89%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0. 775]		3. 70%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0. 769]		0. 85%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油)		3. 60%	TPT0250 軽油 1. 2号ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 据付 B=1 50kg以上80kg以下 C=2 基礎砕石なし D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-2-⑩-16				

施工パッケージ内訳表

頁0-0068

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
プレキャスト集水桧 SPA601 据付 標準単価： 3,647.8 機械構成比： 18.10% 労務構成比： 78.08% 材料構成比： 3.82% 市場単価構成比： 0.00%	50kg以上80kg以下		施工 第0 -0057号表 1 基	
K9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付] 1.7 t 吊 山積 0. 2 8 m3 (平積 0. 2 m3)		14.60%	TPK9206 バックホウ [ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ付] 賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0. 778]		53.20%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0. 828]		5.89%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0. 775]		3.16%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0. 769]		0.73%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油)		3.08%	TPT0250 軽油 1. 2号 ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 据付 B=1 50kg以上80kg以下 C=1 基礎砕石あり D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 Ⅱ-2-⑩-16				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0069

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
車止めB工 V2013 φ220×H470 素焼調	10	基			施工 第0-0058号表 特単単価適用日：07年07月15日
車止めB テイキン 41.5kg φ220×H470 磁器製 素焼調	10	基			F4017
プレキャスト集水桝 据付 50kg以上80kg以下 ブロック据付工	10	基			SPA601 施工 第0-0056号表
基礎碎石 7.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40 t 50	1.6	m2			SPA391 施工 第0-0059号表
型枠 一般型枠 小型構造物	4	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.37	m3			SPB401 施工 第0-0054号表
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0070

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
基礎碎石 SPA391 7.5cm以下 標準単価： 1,134.1 機械構成比： 5.94% 労務構成比： 82.36% 材料構成比： 11.70% 市場単価構成比： 0.00%	再生クラッシャラン R C - 4 0		施工 第0 -0059号表 1 m2	
バックホウ [クローラ型] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) K9203		5.90%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
普通作業員 [0.828] R0030		39.47%	普通作業員 TPR0030	
特殊作業員 [0.769] R0020		16.71%	特殊作業員 TPR0020	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		15.75%	運転手 (特殊) TPR0120	
土木一般世話役 [0.775] R0010		9.86%	土木一般世話役 TPR0010	
再生骨材 (骨材) クラッシャラン R C - 4 0 T8454		6.34%	再生クラッシャラン R C - 4 0 TPT8454	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		5.33%	軽油 1.2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 7.5cm以下 C=2 再生クラッシャラン R C - 4 0 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 II-2-②-2				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0071

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プラ杭工 V2014 450×45角	10	基			施工 第0 -0060号表 特単単価適用日：07年07月15日
プラ杭 450×45mm角	10	基			F4018
普通作業員 [0.828]	0.5	人			R0030
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

植栽帯盛土A工 V3001 芝張	10	m			施工 第0 -0061号表 特単単価適用日：07年07月15日
芝張 野芝 全面 法面 土木施工単価P106	4.4	m2			F4021
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0072

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽帯盛土A-2工 V3002 芝張	10	m			施工 第0 -0062号表 特単単価適用日：07年07月15日
芝張 野芝 全面 法面 土木施工単価P106	10	m2			F4021
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

植栽帯盛土B工 V3003 芝張	10	m			施工 第0 -0063号表 特単単価適用日：07年07月15日
芝張 野芝 全面 法面 土木施工単価P106	10	m2			F4021
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0073

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽帯盛土B調整部 V3004 芝張 植生土のう積み	10	m			施工 第0 -0064号表 特単単価適用日：07年07月15日
芝張 野芝 全面 法面 土木施工単価P106	8.4	m2			F4021
植生土のう工 側面並べ	3	m2			V3101 施工 第0-0065号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
植生土のう工 V3101 側面並べ	10	m2			施工 第0 -0065号表 特単単価適用日：07年07月15日
購入土 良質土（ほぐした土量）	2.8	m3			T8350
植生土のう 種子、肥料付土のう幅40～41cm×60cm	140	枚			T0130
普通作業員 [0.828]	1.4	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0074

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ヤマツツジ植栽 V3005 H1.0 W0.5	10	本			施工 第0 -0066号表 特単単価適用日：07年07月15日
ヤマツツジ H1.0 W0.5 積算資料P555	10	本			F6001
公園植栽工 植樹工 中木 樹高 100cm以上200cm未満 週休二日4週8休以上（通期） 補正係数1.02	10	本			TA962
*** 合 計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
マサキ植栽 V3006	10	本			施工 第0 -0067号表 特単単価適用日：07年07月15日
マサキ H1.2 W0.3 積算資料P555	10	本			F6002
公園植栽工 植樹工 中木 樹高 100cm以上200cm未満 週休二日4週8休以上（通期） 補正係数1.02	10	本			TA962
*** 合 計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 内 訳 表

頁0-0075

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0076

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
芝張工 V3007 平坦面 野芝・全面	100	m2			施工 第0 -0069号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 [0.775]	0.2	人			R0010
造園工 [0.773]	1.1	人			R0340
普通作業員 [0.828]	2.3	人			R0030
購入土 良質土（ほぐした土量）	2.7	m3			T8350
芝 野芝	100	m2			T0101
芝目串 竹製	15	百本			T0120
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施 工 内 訳 表

頁0-0077

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水道用ポリエチレン管 V4001 油脂浸透防止対策済 50A	10	m			施工 第0 -0070号表 特単単価適用日：07年07月15日
水道用ポリエチレン管 油脂浸透防止対策済 50A EF継手	10	m			F7001
配管工 [0.764]	0.1	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.18	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

水道用ポリエチレン管 V4002 油脂浸透防止対策済 25A	10	m			施工 第0 -0071号表 特単単価適用日：07年07月15日
水道用ポリエチレン管 油脂浸透防止対策済 25A EF継手	10	m			F7002
配管工 [0.764]	0.07	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.12	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0078

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水道用ポリエチレン管 V4003 油脂浸透防止対策済 20A	10	m			施工 第0 -0072号表 特単単価適用日：07年07月15日
水道用ポリエチレン管 油脂浸透防止対策済 20A EF継手	10	m			F7003
配管工 [0.764]	0.07	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.12	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

管路土工 V4004 クリンカアッシュ埋戻し	10	m			施工 第0 -0073号表 特単単価適用日：07年07月15日
吸出し防止材設置 合繊不織布 t 10	16.26	m2			SPA831 施工 第0-0038号表
クリンカアッシュ（土質改良材） （単位容積重量 1.0 t/m3）	2.19	t			TU360
埋戻し クリンカアッシュ 土砂	1.65	m3			SPA181 施工 第0-0074号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0079

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 クリンカアッシュ 標準単価： 3,871.1 機械構成比： 9.48%	土砂 9.48%	86.47%	施工 第0-0074号表 1 材料構成比： 4.05%	m3 0.00%
MA204 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		8.90%	TPMA204 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次	
MC271 タンバ及びランマ [ランマ] 質量 60～80kg		0.58%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 [0.828]		49.42%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.17%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手(特殊) [0.778]		17.88%	TPR0120 運転手(特殊)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		3.20%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.85%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5 上記以外(小規模) B=1 土砂 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 II-1-③-12				

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0080

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0081

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋外消火栓工（総合型） V4006 40A 水道直結型	10	基			施工 第0-0076号表 特単単価適用日：07年07月15日
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン RC-40 t 100	0.75	m2			SPA391 施工 第0-0042号表
型枠 一般型枠 小型構造物	12.8	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 パッキ材(クレーン機能付)打設	1.56	m3			SPB401 施工 第0-0046号表
屋外消火栓	10	基			V4101 施工 第0-0077号表
配管工 [0.764]	2.7	人			R0300
普通作業員 [0.828]	5.3	人			R0030
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0082

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋外消火栓 V4101	1	基			施工 第0 -0077号表 特単単価適用日：07年07月15日
屋外消火栓 ホース40m	1	基			F7004
ペル 150φ 防水 積算資料P764	1	基			F7005
発信機 P型1級 屋外 埋込型 建設物価P626	1	基			F7006
制御ケーブル端子接続 5C以下	2	箇所			V4102 施工 第0-0078号表
*** 単位当たり ***	1	基			

制御ケーブル端子接続 V4102 5C以下	1	箇所			施工 第0 -0078号表 特単単価適用日：07年07月15日
電工 [0.706]	0.21	人			R0380
*** 単位当たり ***	1	箇所			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0083

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
止水栓 V4007 25A 弁きょう共	1	基			施工 第0 -0079号表 特単単価適用日：07年07月15日
止水栓 青銅製 ゲートバルブ 10K 25A 建設物価P699	1	個			F7007
弁きょう B5-1 積算資料P869	1	個			F7008
配管工 [0.764]	0.35	人			R0300
*** 単位当たり ***	1	基			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
量水器ボックス V4008 パルス式量水器用 25A 逆止弁共	1	基			施工 第0 -0080号表 特単単価適用日：07年07月15日
量水器ボックス MB-1 25.1 k g 積算資料P869	1	個			F7009
普通作業員 [0.828]	0.1	人			R0030
逆止弁 青銅製チェッキバルブ 25A 10K 建設物価P699	1	個			F7010
配管工 [0.764]	0.09	人			R0300
*** 単位当たり ***	1	基			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0084

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
散水栓ボックス V4009 WB・20A 水抜き水栓共	1	基			施工 第0 -0081号表 特単単価適用日：07年07月15日
散水栓ボックス 軽荷重用 鑄鉄製 BD-3-1	1	個			F7011
不凍式水栓柱セット GT0-13 呼称0.3m	1	組			F7012
ドレンマス DMLS200	1	組			F7013
配管工 [0.764]	0.35	人			R0300
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0085

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水抜栓 V4010 量水器付近 一般形 25A 0.3m ドレン樹共	1	基			施工 第0 -0082号表 特単単価適用日：07年07月15日
水抜栓 25A 0.3m	1	個			F7014
パルプボックス B型 SSV-150B	1	個			F7015
硬質ポリ塩化ビニル管 VP125A 積算資料P812	0.3	m			F7016
ドレンマス DMLS200	1	組			F7013
配管工 [0.764]	0.35	人			R0300
* * * 単位当たり * * *	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0086

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水抜栓 V4011 水飲み予定位置 一般形 20A 0.3m ドレン樹共	1	基			施工 第0 -0083号表 特単単価適用日 : 07年07月15日
水抜栓 20A 0.3m	1	個			F7017
パルプボックス B型 SSV-150B	1	個			F7015
硬質ポリ塩化ビニル管 VP125A 積算資料P812	0.4	m			F7016
ドレンマス DMLS200	1	組			F7013
配管工 [0.764]	0.35	人			R0300
*** 単位当たり ***	1	基			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
キャップ止 V4012 パイプエンド 20A	1	箇所			施工 第0 -0084号表 特単単価適用日 : 07年07月15日
パイプエンド 水道用ポリエチレン管金属継手 20A 建設物価P686	1	個			F7018
配管工 [0.764]	0.04	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.04	人			R0030
*** 単位当たり ***	1	箇所			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0087

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管ポール柱 V5001 L7.4m（地上H6.16m）	10	基			施工 第0-0085号表 特単単価適用日：07年07月15日
型枠 一般型枠 小型構造物	19.78	m2			SPB431 施工 第0-0045号表
コンクリート 小型構造物 パック材(クレーン機能付)打設	2.97	m3			SPB401 施工 第0-0046号表
鋼管柱 上部柱	10	本			F8001
鋼管柱 下部柱	10	本			F8002
鋼管柱 附属品	10	本			F8003
電工 [0.706]	9	人			R0380
普通作業員 [0.828]	15	人			R0030
*** 合 計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

20250000000

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0088

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
引込開閉器盤（屋外形） V5002 MCCB3P 100AF×1個	1	基			施工 第0 -0086号表 特単単価適用日：07年07月15日
引込開閉器盤（屋外形） MCCB3P 100AF×1個 DDB5313KA	1	個			F8004
電工 [0.706] 設置 前面0.4m2以下 露出	1.3	人			R0380
ブレーカ E100NF 積算資料P712	1	個			F8012
電工 [0.706]	0.708	人			R0380
*** 単位当たり ***	1	基			

EM-CETケーブル V5003 38mm2FEP内（PF・CD） 外径7.3mm	100	m			施工 第0 -0087号表 特単単価適用日：07年07月15日
EM-CET 38mm2 外径7.3mm 積算資料P659	100	m			F8009
電工 [0.706] 10mm以下	2.3	人			R0380
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0089

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
600V二種ビニル絶縁電線 V5004 (HIV) (PF管内) 外径5mm 5.5mm ²	100	m			施工 第0 -0088号表 特単単価適用日 : 07年07月15日
600V二種ビニル絶縁 5.5mm ² 外径5mm 積算資料P648	100	m			F8010
電工 [0.706] 5mm以下	1.2	人			R0380
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
*****	*****	*****	*****	*****	*****
EM-HPケーブル V5005 1.2mm-5P FEP内 (PF・CD) 外径10.5mm	100	m			施工 第0 -0089号表 特単単価適用日 : 07年07月15日
EM-HPケーブル 外径10.5mm 1.2mm-5 P FEP内 (P F ・ C D) FP-C代用 建設物価P553	100	m			F8011
電工 [0.706] 20mm以下	5.5	人			R0380
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0090

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工 第0 -0090号表
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 I-2-②-24					

登録単価一覧表

頁0-0091

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
F1006	礫敷舗装 礫材粒径調整 バックホウによる分級 礫材粒径調整 径30～60	m ³		全間接費対象額
F6003	ピートモス B級 国産	kg		全間接費対象額
F6004	パーク堆肥 樹皮	kg		全間接費対象額
F8005	塩ビプルボックス ハンドホール内セパレーター用 VP:250×250×100 標準型	基		全間接費対象額
F8006	接地極（銅覆鋼棒打込式） 14φ×1.5m～3連	箇所		全間接費対象額
F8007	接地極埋設標 金属製 接地抵抗測定共	枚		全間接費対象額
F8008	合成樹脂製可とう電線管 （PF単層） 隠ぺい・埋込配管16mm	m		全間接費対象額

史跡公園園内施設整備工事 数量総括表

工種	細別	規格	数式	単位	数量	摘要
造成工						
	盛土 芝張用盛土	t 100	(81.7+91.1+160.3+1094.5+519.5) *0.1	m3	194.7	良質土
	作業土工発生土(ズリ土)		作業土工集計表より	m3	179.7	ズリ土
	購入土	良質土 ほぐし土	芝張用盛土*1.33	m3	259.0	普通土変化率
	発生土運搬・仮置	岩ズリ ほぐし土	作業土工発生土*1.2	m3	215.7	
園路広場工						
	硬質土系舗装A カラー 園路	t 400	381.7	m2	381.7	
	硬質土系舗装A カラー 遺構表示	t 400 表層 t 100	10.8	m2	10.8	
	硬質土系舗装B カラー 遺構表示	t 400 表層 t 70	130.7+132.9+132.3+148.2	m2	544.1	
	硬質土系舗装B 特色 遺構表示	t 400 表層 t 70	51.1	m2	51.1	
	硬質土系舗装C カラー 園路	t 250 表層 t 50	154.5	m2	154.5	
	軟質土系舗装 園路	t 200	31.4+79.7+76.3+31.8	m2	219.2	
	舗装止 杉板	h100	65.1+47.1+41.1+38.5+61.3+109.3	m	362.4	
	舗装止 杉板	h70	55.2+26.0+31.6+81.4+62.4	m	256.6	
	舗装止 杉板	h50	25.0+21.1	m	46.1	
	見切り材	スリムエッジ	23.4+23.4+22.5+24.2	m	93.5	
	礫敷舗装 一般部	河原礫舗装	1,512.9	m2	1,512.9	1512.9*0.04*1.33=80.5m3
	縁石A	W150/170×H200×L600	13.3	m	13.3	
	縁石A 車両進入部	W160/170×H200/100×L600	10.5	m	10.5	
	縁石A 一段切下げ部	W150/170×H100×L600	0.6×2	m	1.2	
	地先境界縁石	120×120×120	7.6	m	7.6	
	東側 舗装二ト仕上げ		8.9	m2	8.9	
	吸出し防止材設置(礫敷舗装内集水桝上)	合繊不織布 t 10	0.64+0.64	m2	1.28	
	作業土工 床掘		161.7	m3	161.7	
	作業土工 埋戻し		0.3	m3	0.3	

史跡公園園内施設整備工事 数量総括表

工種	細別	規格	数式	単位	数量	摘要
施設工						
	正殿 柱位置表示コンクリート擬石	φ 420 × H200	12.0	基	12.0	
	正殿 柱位置表示コンクリート擬石	φ 270 × H200	20.0	基	20.0	
	北殿・正殿・東殿 柱跡表示擬木	φ 300 × H400	12+13+13	基	38.0	
	北殿・正殿・東殿 柱跡表示擬石	φ 300 × H200	6+7+7	基	20.0	
	西殿 西側スロープ	W2400 × L2400	1.0	箇所	1.0	
	西殿 東側スロープ	W2400 × L3100	1.0	箇所	1.0	
	標識	300 × 300 × 2400	1.0	基	1.0	
	車止め A(園路内)	φ 200/120 × H450	6.0	基	6.0	
	車止め B	φ 220 × H470	5.0	基	5.0	
	ブラ杭	450 × 45角	5+4	基	9.0	
	作業土工 床掘		0.9	m3	0.9	
	作業土工 埋戻し		0.2	m3	0.2	
植栽工						
	植栽帯盛土A		10.3+24.6+9.7	m	44.6	
	植栽帯盛土A-2		14.3+14.0	m	28.3	
	植栽帯盛土B		25.4-調整部7.27	m	18.1	
	植栽帯盛土B調整部		7.27	m	7.3	
	ヤマツツジ	H1.0 × W0.5	(10+24.4+25.1+9.5) *2	本	138.0	2本/m
	マサキ	H1.2 × W0.3 × L16.6	16.6*2	本	34.0	2本/m
	改良材 ピートモス		植栽改良材計算書より	kg	151.4	
	改良材 パーク堆肥		植栽改良材計算書より	kg	292.4	
	生垣形支柱	H1.0m内外	(10+24.4+25.1+9.5) +16.6	m	86.0	
	芝張り	野芝全面	81.7+91.1+160.3+1094.5+519.5	m2	1,947.1	
	作業土工 床掘		15.3	m3	15.3	
	作業土工 埋戻し		37.4	m3	37.4	
	盛土材	良質土	37.4*1.33	m3	49.7	

史跡公園園内施設整備工事 数量総括表

工種	細別	規格	数式	単位	数量	摘要
給水設備工						
	水道用ポリエチレン管	油脂浸透防止対策済 50A	11.2+0.8	m	12.0	
	水道用ポリエチレン管	油脂浸透防止対策済 25A	12.8	m	12.8	
	水道用ポリエチレン管	油脂浸透防止対策済 20A	1+1+2	m	4.0	
	管路土工	クリンカアッシュ埋戻し	12.8	m	12.8	
	埋設標識テープ	150幅	12.8	m	12.8	
	屋外消火栓（総合型）	水道直結型	1.0	基	1.0	
	止水栓	10K 25A 弁きょう共	1.0	基	1.0	
	量水器ボックス	25A	1.0	基	1.0	
	散水栓ボックス	WB・20A 水抜き水栓・柵共	4.0	基	4.0	
	水抜栓（止水栓位置）	一般形 25A 0.3m 柵共	1.0	基	1.0	
	水抜栓（水飲み位置）	一般形 20A 0.3m 柵共	1.0	基	1.0	
	キャップ止	水飲み予定位置	1.0	口	1.0	
	作業土工 床掘		3.6	m3	3.6	
	作業土工 埋戻し		1.2	m3	1.2	
電気設備工						
	鋼管ポール柱	L7.4m（地上H6.16m）	1.0	基	1.0	
	引込開閉器盤（屋外形）	MCCB3P 100AF×1個	1.0	基	1.0	
	合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 16mm	3.0	m	3.0	
	600V二種ビニル絶縁電線（HIV）（PF管内）	5.5mm2	4.0	m	4.0	
	ハンドホール内セパレーター用塩ビ樹脂ボックス	VP:250×250×100	5.0	個	5.0	
	接地極（銅覆鋼棒打込式）	14φ×1.5m～3連	1.0	箇所	1.0	
	接地極埋設標	金属製	1.0	枚	1.0	
	EM-CETケーブル	38mm2 FEP内（PF・CD）	2+48+22.6+11.8+4（HH～南殿）+1.5（南殿内）+1（立上）	m	90.9	引込柱～建築内分電盤まで
	EM-HPケーブル	1.2mm-5P FEP内（PF・CD）	11.8+11.6+23+4（HH～南殿）+1.5（南殿内）+1（立上）	m	52.9	消火栓～建築内分電盤まで
	作業土工 床掘		1.5	m3	1.5	
	作業土工 埋戻し		1.2	m3	1.2	

■ 作業土工集計表

工種	単位	数 量	土工				残土(不足土)		
			床掘		埋戻				
			単位当	土 量	単位当	土 量	単位当	土 量	
■ 園路広場工									
硬質土系舗装A	m2	381.7	0.300	114.510			0.300	ズリ土	114.510
硬質土系舗装C	m2	154.5	0.150	23.175			0.150	ズリ土	23.175
軟質土系舗装	m2	219.2	0.100	21.920			0.100	ズリ土	21.920
縁石A	m	13.3	0.071	0.947	0.011	0.142	0.059	ズリ土	0.789
縁石A 車両進入部	m	10.5	0.071	0.748	0.011	0.112	0.059	ズリ土	0.623
縁石A 一段切下げ部	m	1.2	0.071	0.085	0.011	0.013	0.059	ズリ土	0.071
地先境界縁石	m	7.6	0.038	0.285	0.004	0.027	0.034	ズリ土	0.255
小計				161.670		0.294			161.343
■ 施設工									
西殿 東側スロープ	箇所	1.0	0.909	0.909	0.227	0.227	0.656	ズリ土	0.656
車止め A(園路内)	基	6.0	0.004	0.022		0.000	0.004	ズリ土	0.022
小計				0.931		0.227			0.678
■ 植栽工									
植栽帯盛土A	m	44.6	0.298	13.269	0.518	23.081	0.298	ズリ土	13.269
植栽帯盛土A-2	m	28.3	-		0.185	5.236			0.000
植栽帯盛土B	m	18.1	0.110	1.994	0.470	8.521	0.110	ズリ土	1.994
植栽帯盛土B調整部	m	7.3		0.000	0.081	0.591			0.000
小計				15.263		37.429			15.263
■ 給水設備工									
管路土工	基	12.8	0.205	2.627	0.040	0.512	0.161	ズリ土	2.057
屋外消火栓	基	1.0	0.588	0.588	0.396	0.396	0.148	ズリ土	0.148
散水栓ボックス	基	4.0	0.072	0.288	0.055	0.222	0.010	ズリ土	0.042
水抜栓 (水飲み位置)	基	1.0	0.068	0.068	0.051	0.051	0.011	ズリ土	0.011
小計				3.571		1.181			2.258
■ 電気設備工									
鋼管ポール柱	基	1.0	1.539	1.539	1.242	1.242	0.159	ズリ土	0.159
小計				1.539		1.242			0.159
計				182.974		40.373			179.701

■ 植栽客土集計表

幹周	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植穴径 (cm)	数量 (本)	植穴容量 (m ³)		鉢容量 (m ³)	
					単位当り	数量	単位当り	数量
中低木用(樹高cm)								
30 未満	15	8	29		0.015	0.000	0.001	0.000
30 以上 50 未満	17	10	33		0.022	0.000	0.002	0.000
50 以上 80 未満	20	12	37		0.030	0.000	0.004	0.000
80 以上 100 未満	22	13	41		0.040	0.000	0.005	0.000
100 以上 150 未満	26	16	46	172	0.057	9.804	0.008	1.376
150 以上 200 未満	30	19	54		0.090	0.000	0.013	0.000
200 以上 250 未満	35	23	61		0.133	0.000	0.022	0.000
250 以上 300 未満	40	26	69		0.188	0.000	0.032	0.000
高木(幹周cm)								
10 以上 15 未満	38	28	75		0.14	0.000	0.028	0.000
			計	172	残土量	9.804		1.376
			客土量	9.804	-	1.376	=	8.428

□ 改良材 単位当り

	掘削 (撈拌) (m ³)	埋戻 (掘削-鉢容量) (m ³)	鉢容量 (m ³)	改良材	
				ピートモス (kg)	バーク堆肥 (kg)
中低木用					
30 未満	0.015	0.014	0.001	0.29	0.55
30 以上 50 未満	0.022	0.020	0.002	0.42	0.8
50 以上 80 未満	0.030	0.026	0.004	0.55	1.1
80 以上 100 未満	0.040	0.035	0.005	0.75	1.5
100 以上 150 未満	0.057	0.049	0.008	0.88	1.7
150 以上 200 未満	0.090	0.077	0.013	1.2	2.4
200 以上 250 未満	0.133	0.111	0.022	1.5	3.0
250 以上 300 未満	0.188	0.156	0.032	1.9	3.7
高木用					
10 以上 15 未満	0.14	0.112	0.028	2.5	4.9

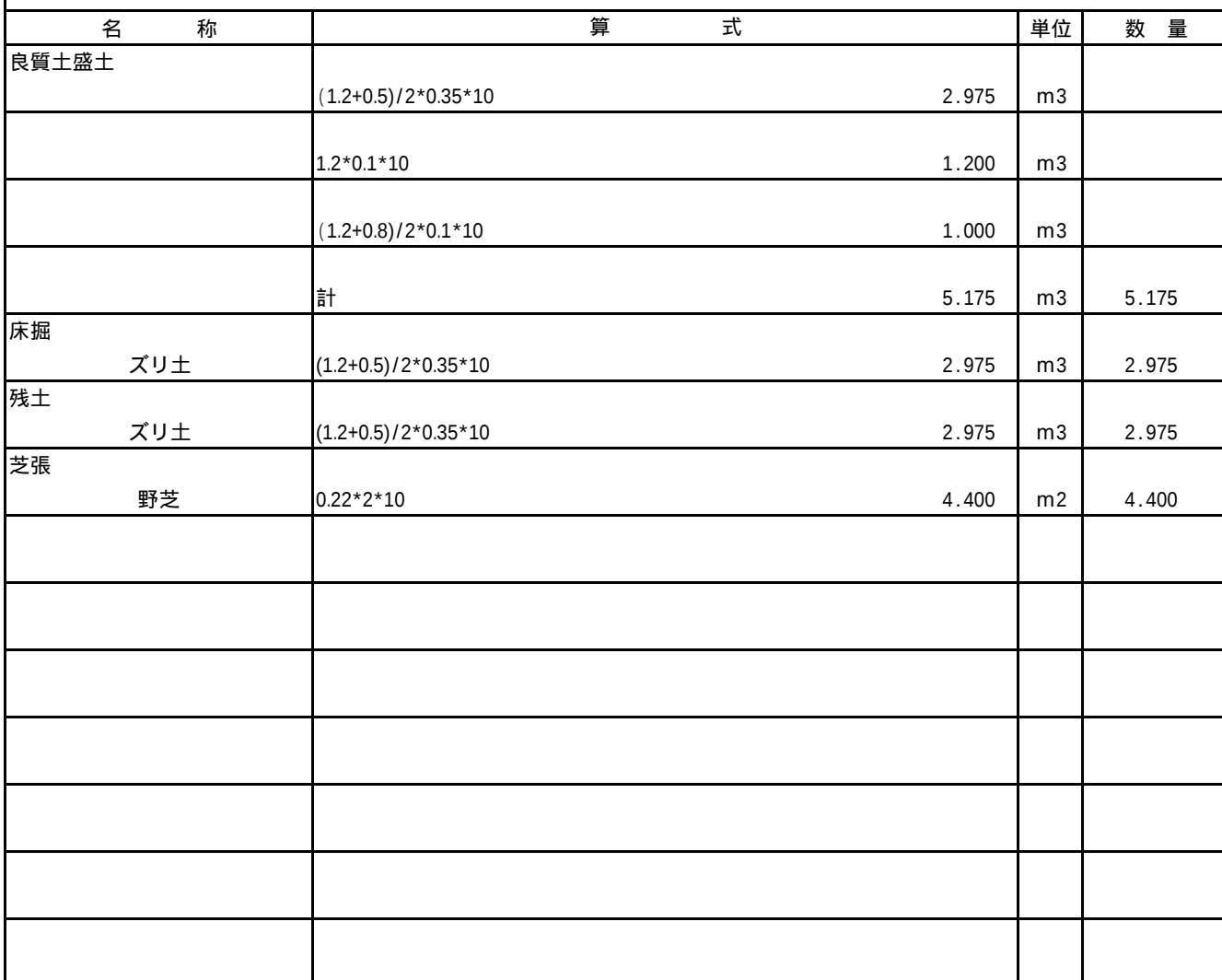
改良材集計	
ピートモス (kg)	バーク堆肥 (kg)
0.00	0.0
0.00	0.0
0.00	0.0
0.00	0.0
151.36	292.4
0.00	0.0
0.00	0.0
0.00	0.0
0.00	0.0
計 151.36	292.4

計

材 料 計 算 書

1

10 m 当即

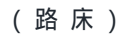


[illegible]

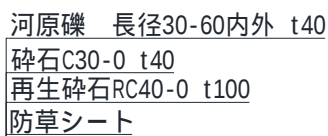
当り

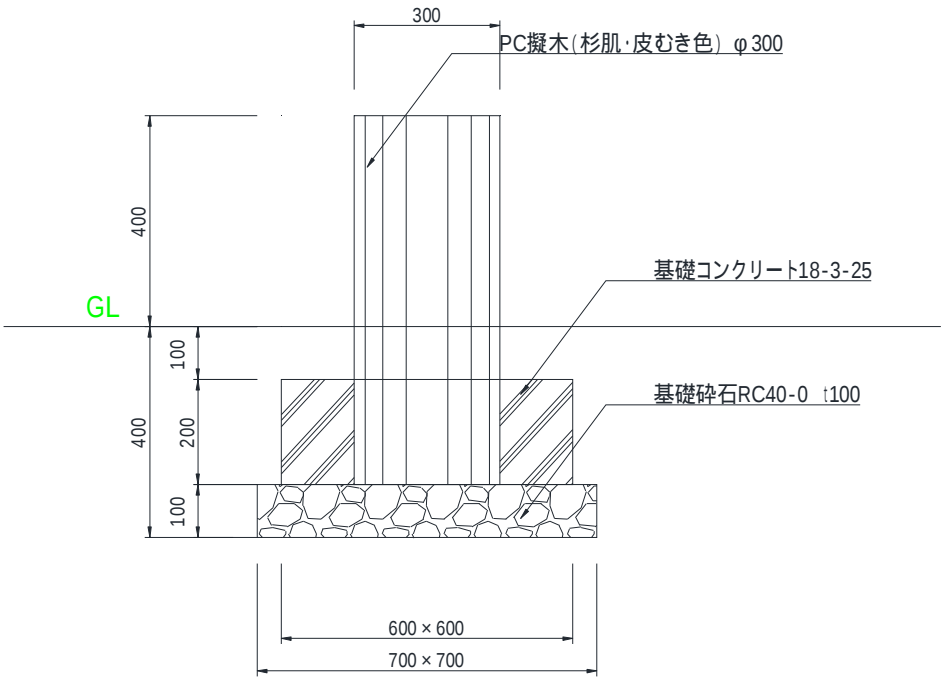
[illegible]

100 m2 当 月

[illegible]

[illegible]

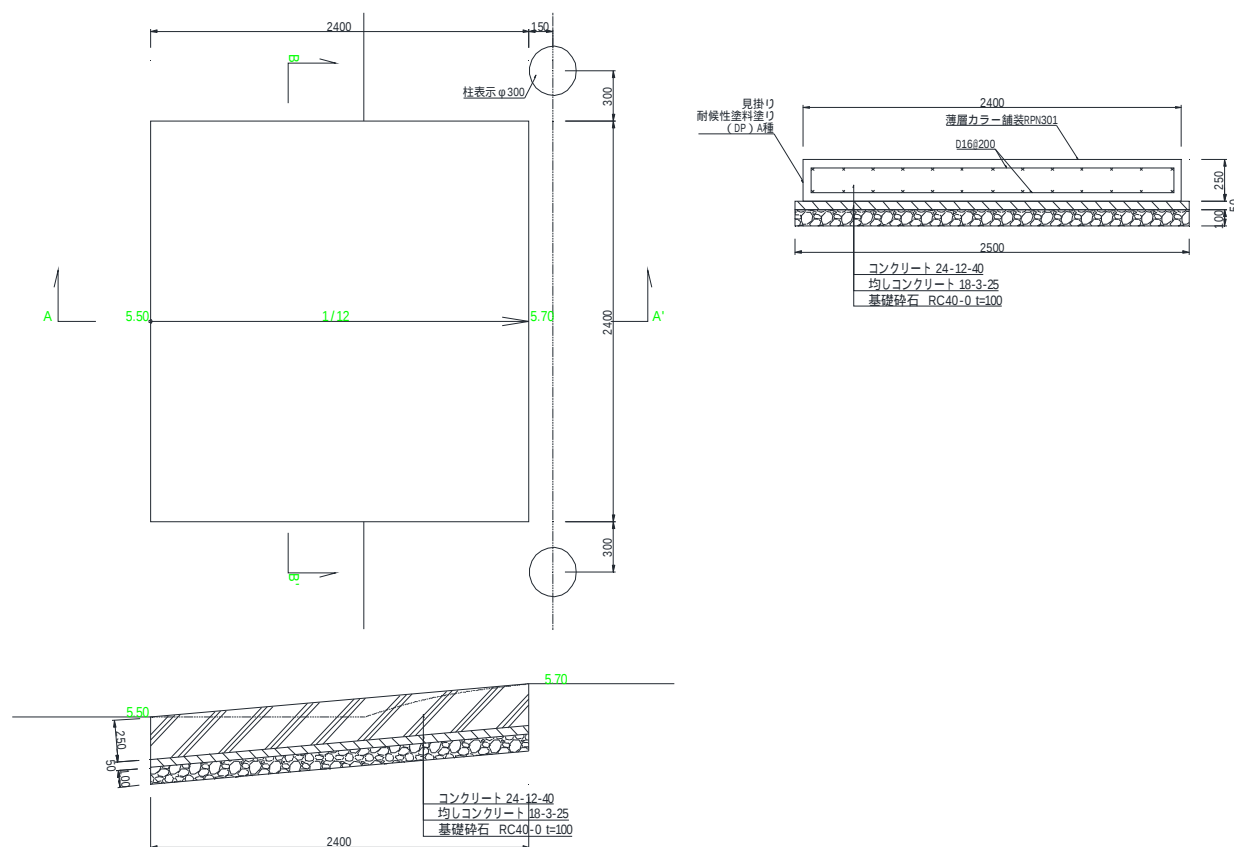
[illegible]



名 称	算 式	単位	数 量
掘削	盛土内		
基礎碎石 RC40-0 t 100	0.7*0.7*104.900	m2	4.900
型枠	0.6*0.2*4*104.800	m2	4.800
基礎コンクリート 18-3-25	((0.6*0.6)-(0.15*0.15*3.14))*0.2*100.578	m3	0.578
PC擬木 φ 300 × H700	1010.000	基	10.000

算式根拠となる構造図

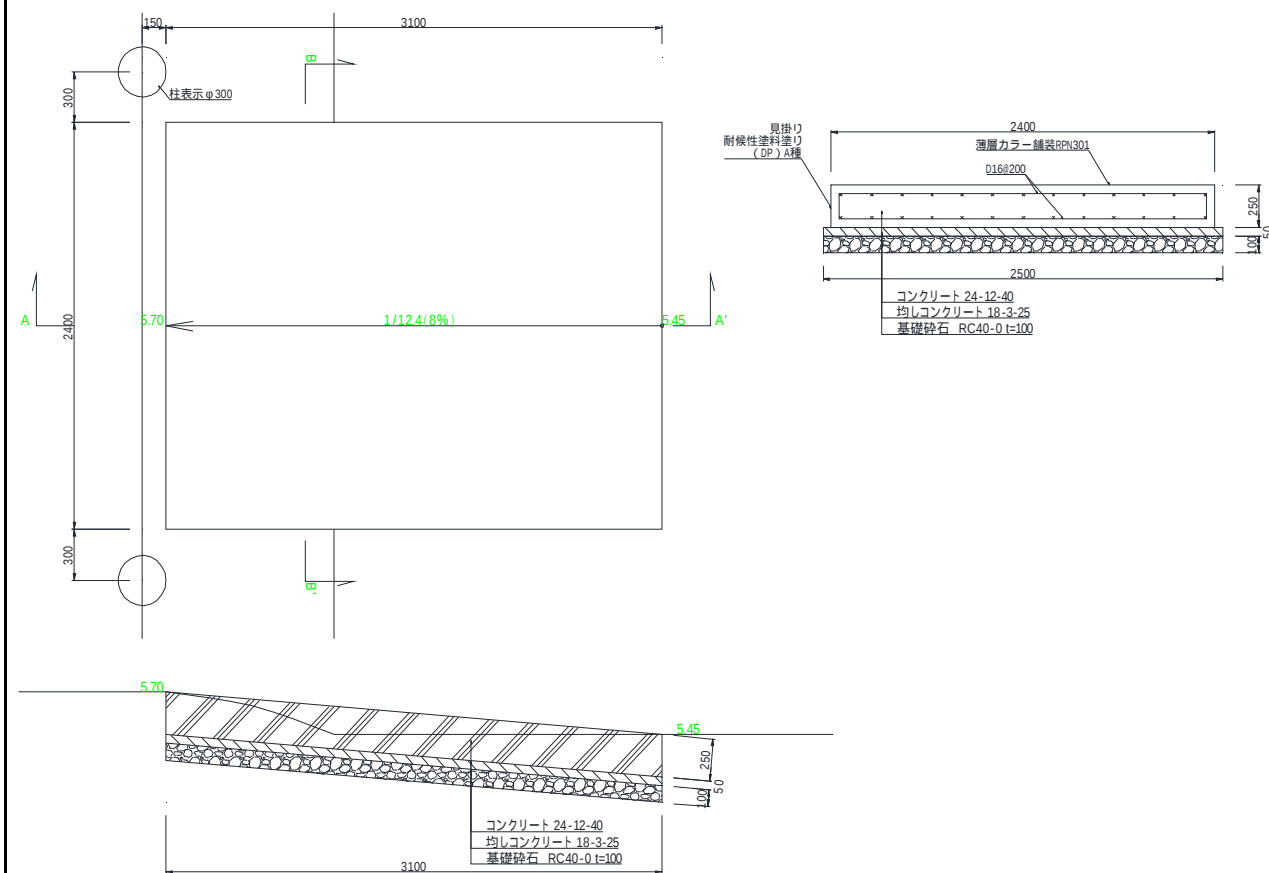
10 箇所 当り



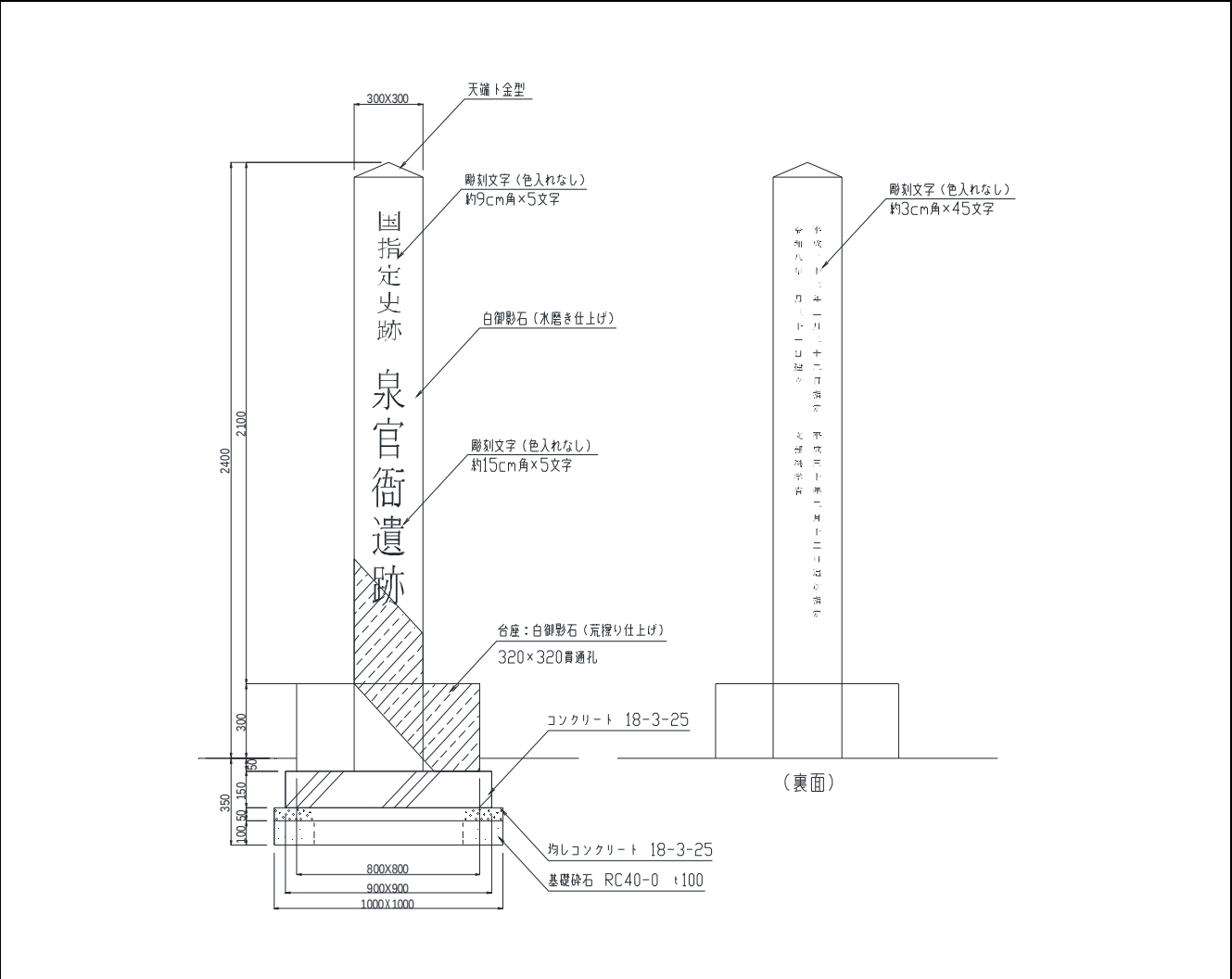
名 称	算 式	単位	数 量
掘削	舗装t400内→掘削なし		
基礎碎石 RC40-0 t 100	2.5*2.4*10	60.000 m2	60.000
均しコンクリート 18-8-25	2.5*0.05*2.4*10	3.000 m3	3.000
型枠	0.2*(2.4*4)*10	19.200 m2	19.200
コンクリート打設 24-12-40	2.4*2.4*0.25*10	14.400 m3	14.400
鉄筋 D16 SD295 1.56kg/m	(26*2.4+((0.25+2.4)*2+0.53)*2.4/0.2)*10	1323.600 m	
	1323.6*1.56/1000	2.064 t	2.064
薄層カラー舗装 RPN301	2.4*2.4*10	57.600 m2	57.600
耐候性塗料塗り (DP) A種	0.25/2*2.4*2*10	6.000 m2	6.000

算式根拠となる構造図

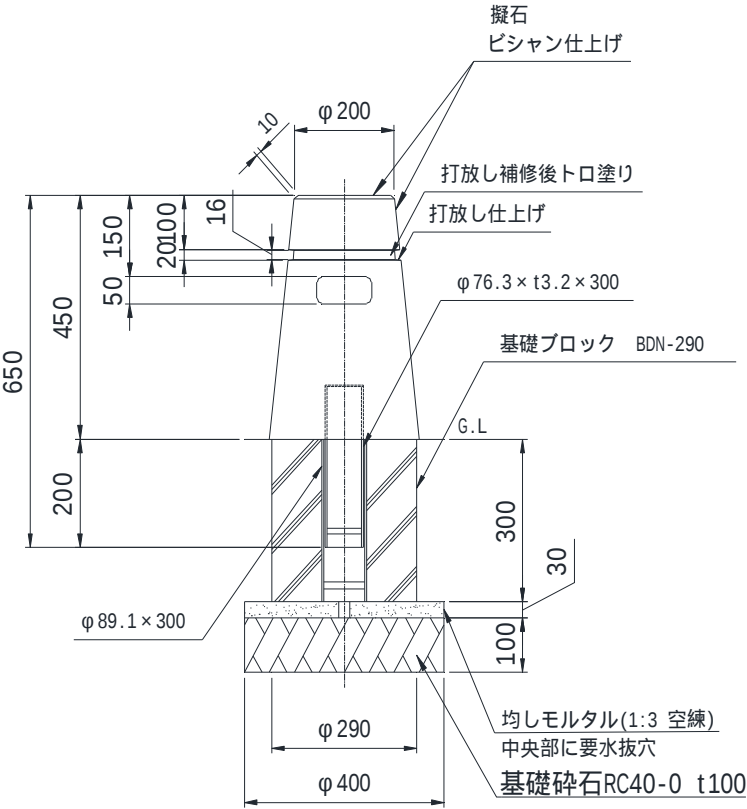
10 箇所 当り



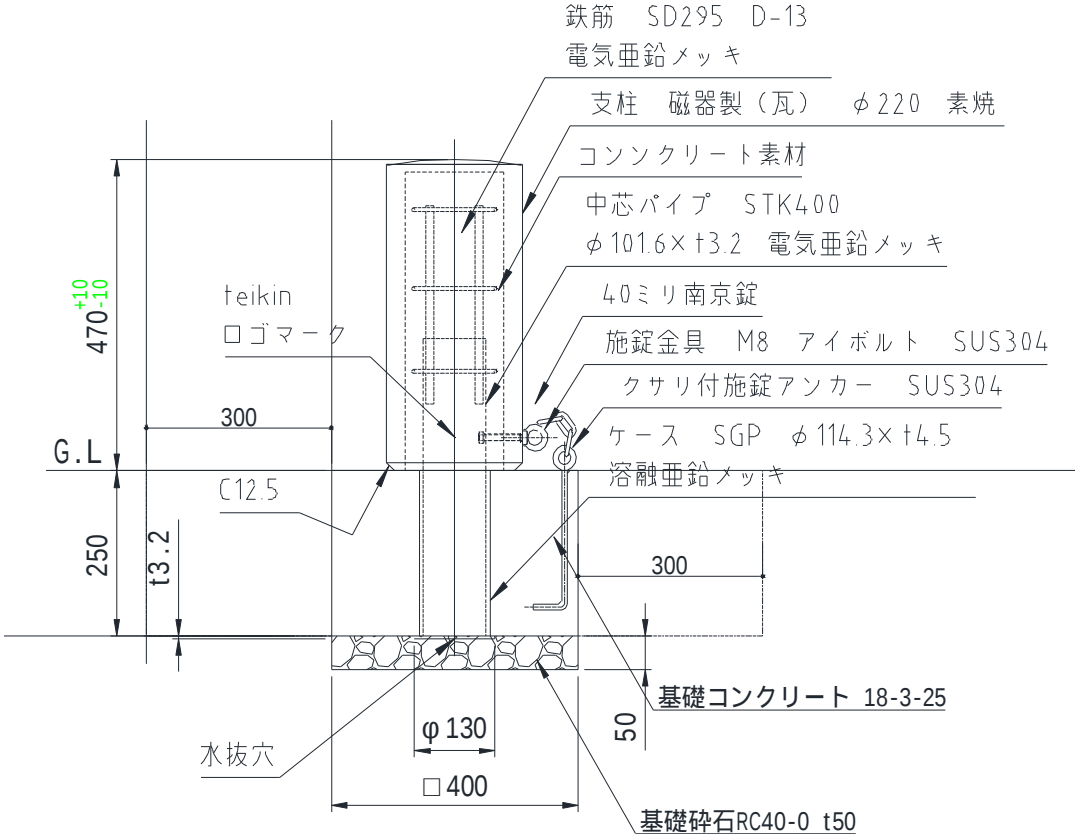
名 称	算 式	単位	数 量
掘削	$0.284 \times (2.4 + 0.4 \times 2) \times 10$	m ³	9.088
埋戻	$0.284 \times (0.4 \times 2) \times 10$	m ³	2.272
残土 ズリ土	掘削 - 埋戻 / 0.9	m ³	6.563
基礎砕石 RC40-0 t 100	$2.5 \times 3.1 \times 10$	m ²	77.500
均しコンクリート 18-3-25	$2.5 \times 0.05 \times 3.1 \times 10$	m ³	3.875
型枠	$(2.4 + 3.1) \times 2 \times 0.25 \times 10$	m ²	27.500
基礎コンクリート 24-12-40	$2.4 \times 3.1 \times 0.25 \times 10$	m ³	18.600
鉄筋 D13 SD295 1.56kg/m	$(26 \times 3.1 + ((0.25 + 2.4) \times 2 + 0.53) \times 3.1 / 0.2) \times 10$	m	1709.650
	$1709.65 \times 1.56 / 1000$	t	2.667
薄層カラー舗装 RPN301	$2.4 \times 3.1 \times 10$	m ²	74.400
耐候性塗料塗り (DP) A種	$0.25 / 2 \times 3.1 \times 2 \times 10$	m ²	7.750



名 称	算 式	単位	数 量
掘削	舗装t400内→なし	m3	0.000
基礎砕石 RC40-0 t 100	1.0*1.0*1010.000	m2	10.000
均しコンクリート 18-3-25	1.0*1.0*0.05*100.500	m3	0.500
型枠	0.9*0.15*4*105.400	m2	5.400
基礎コンクリート 18-3-25	0.9*0.9*0.15*101.215	m3	1.215
台座	1*1010.000	基	10.000
標柱	1*1010.000	基	10.000

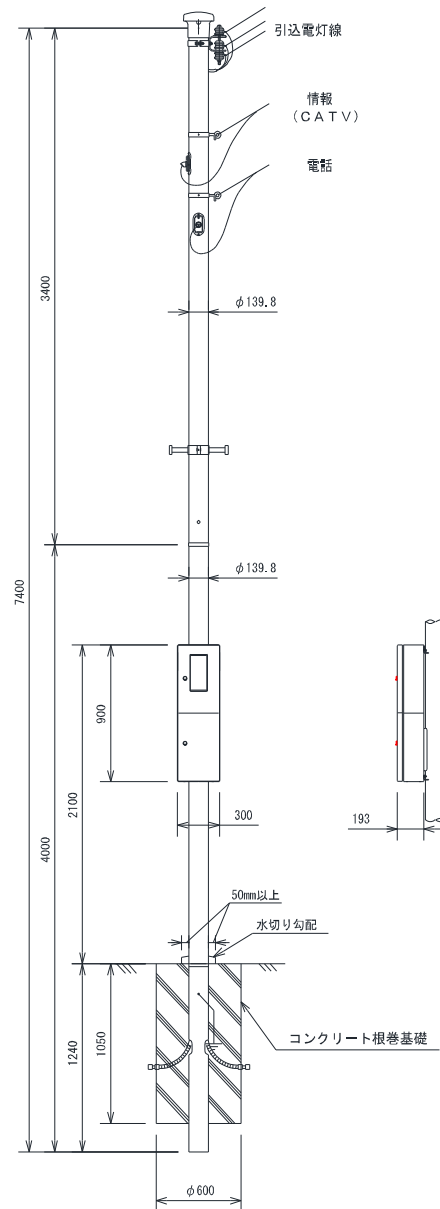


名 称	算 式	単位	数 量
掘削	舗装t400内 0.2*0.2*3.14*0.03*10 0.037	m3	0.037
基礎砕石 RC40-0 t 100	φ 400 0.2*0.2*3.14*10 1.256	m2	1.256
均しモルタル 1 : 3空練	φ 290 0.145*0.145*0.03*10 0.006	m3	0.006
基礎ブロック BDN-290	1*10 10.000	基	10.000
車止め 擬石 φ 120/200*H450	1*10 10.000	基	10.000
残土 ズリ土	0.2*0.2*3.14*0.03*10 0.037	m3	0.037



名 称	算 式	単位	数 量
掘削	舗装t400内→なし	m3	0.000
基礎碎石 RC40-0 t 50	0.4*0.4*101.600	m2	1.600
型枠	0.4*0.25*4*104.000	m2	4.000
基礎コンクリート 18-3-25	(0.4*0.4-0.065*0.065*3.14)*0.25*100.366	m3	0.366
車止め	1*1010.000	基	10.000

屋外消火栓 (総合型)		水道直結型	22	
算式根拠となる構造図			10	基 当 り
名 称	算 式		単位	数 量
床掘	$(1.5 \times 0.5 \times 0.1 + (1.3 + 0.3 \times 2) \times (0.3 + 0.3 \times 2) \times 0.3) \times 10$		5.880 m3	5.880
基礎砕石 RC40-0 t 100	$1.5 \times 0.5 \times 0.1 \times 10$		0.750 m2	0.750
型枠 打放型枠	$(1.3 \times 0.4 \times 2 + 0.3 \times 0.4 \times 2) \times 10$		12.800 m2	12.800
コンクリート打設 18-8-25	$1.3 \times 0.3 \times 0.4 \times 10$		1.560 m2	1.560
屋外消火栓 総合型 水道管直結	10		10.000 基	10.000
埋戻	$((1.3 + 0.3 \times 2) \times (0.3 + 0.3 \times 2) \times 0.3) \times 10 - 1.3 \times 0.3 \times 0.3 \times 10$		3.960 m3	3.960
残土処分	$5.88 - 3.96 / 0.9$		1.480 m3	1.480



名 称	算 式	単位	数 量
床掘	$(0.6+0.4*2)*(0.6+0.4*2)*3.14/4*10$ 15.386	m3	15.386
鋼管柱 L7.4m (地上H6.16m)	10 10.000	基	10.000
型枠	$0.6*3.14*1.05*10$ 19.782	m2	19.782
コンクリート打設 18-3-25	$0.6*0.6*3.14/4*1.05*10$ 2.967	m3	2.967
埋戻	$15.386-2.967$ 12.419	m3	12.419
残土処分	$15.386-12.419/0.9$ 1.587	m3	1.587

特 記 仕 様 書 (例)

工 事 番 号 : _____
 路 線 河 川 名 : _____
 工 事 名 : 泉官衙遺跡史跡公園園内施設整備工事
 工事施工箇所 : 南相馬市原町区泉字宮前地内

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和 7 年 4 月 1 日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、☒としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第 4 章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第 5 章 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~
- ・第 6 章 ~~快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）~~
- ・第 7 章 週休 2 日確保モデル工事等
- ・第 8 章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~
- ・第 9 章 ~~ふくしま M E 資格取得者の現場活用~~
- ・第 2 3 章 ~~法定外の労災保険の付保~~
- ・第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第 2 5 章 再生資源利用計画書
- ・第 2 6 章 再生資源利用促進計画書
- ・第 2 9 章 その他

3 第 2 章～第 6 章、第 1 5 章～第 2 2 章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているのので、必ず確認すること。

福島県ホームページ>組織でさがす>技術管理課>特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
図面リスト・案内図	1	1	
各種平面図	2～8	7	
詳細図	9～15	7	
電気設備機器姿図（参考図）	16	1	
給水設備姿図（参考図）	17	1	
計	全 17 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
計	全 葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）」（福島県土木部）を活用すること。

技術管理課ホームページ参照

福島県南相馬市

☑第 1 章 一般共通事項

- 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|---------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 5) その他 () | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |

☑ 2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第 5 章 埋設物 (共通仕様書 土木工事編) 」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☐無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

□ 4 河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

□第 2 章 フレックス工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。

□第 3 章 準備期間確保工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間 (○○日間) 内に着工日を任意に設定できる工事である。

第 4 章 情報共有システム~~・遠隔臨場~~

(本章はすべての工事に該当する)

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電位媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、南相馬市建設工事情報システム実施要領によること。

第 5 章—労働者確保に関する積算方法の試行工事

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□ 1 労働者確保に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費 (率分) に占める実績変更対象間接費 (労働者送迎費、宿泊費、借上費) の割合 : _____ %

現場管理費 (率分) に占める実績変更対象間接費 (募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用) の割合 : _____ %

□ 2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費 (率分) に占める実績変更対象間接費 (労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用) の割合 : _____ %

現場管理費 (率分) に占める実績変更対象間接費 (募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課) の割合 : _____ %

第 6 章—快適トイレの設置—

(本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。

設置の可否については、現場環境 (工事期間、周辺環境、労働者配置状況等) を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。

第 7 章 週休 2 日確保モデル工事等

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「福島県土木部週休 2 日等工事試行要領」に定める工事のうち、☒として
いる箇所の対象工事である。

☒「週休 2 日確保モデル工事 (発注者指定型) 」 ☐月単位 ☒通 期

☐「週休 2 日確保交替制工事 (発注者指定型) 」 ☐月単位 ☐通 期

☐「完全週休 2 日モデル工事 (発注者指定型) 」

なお、「週休 2 日確保モデル工事 (発注者指定型) 」及び「週休 2 日確保交替制工事 (発注者指定型) 」において、受注者が「月単位の 4 週 8 休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休 2 日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第 8 章—建設キャリアアップシステム活用工事

(本章はすべての工事に該当する)

1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。

2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

(なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照)

第 9 章—ふくしま ME (メンテナンスエキスパート) 資格取得者の現場活用

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☒ 第 10 章 総 則

☒ 1 施工計画書

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」
(技術管理課ホームページ参照) を参考にすることができる。

☐ 2 工事用地等の使用

☐ 1) _____ 作業に係るヤードとして、別添「 _____ 図」によ
る土地を使用すること。(土地の使用は可能である。)

☐ 2) 使用にあたっての条件、制限等

☒ 3 関連工事

1) 工 事 名 : 泉官衙遺跡郡庁院古代建物造営技術再現・復元工事

2) 路河川名 : _____ 線・筋

3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

4) 注意・指示事項 : _____

☐ 4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

☐ 5 工事現場発生品

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再
使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければな
らない。

☐ 6 建設副産物処理

☐ 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	

積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□ 7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、～ に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
不可視部の工事 (工種)で 2) に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・ 鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2) に示す工事 (工種)
工期が 1 年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 協議による。	
その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 製作、仮組みが完了した時。 ・ その他、発注者の指示による。	3) に示す工事 (工種)

注 1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) 不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

- 杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良
□捨石均し、□被覆・根固め均し、□井筒潜函基礎、□山腹基礎床掘
□上層路盤（1,000m²以上の工事）
□現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
□橋台・橋脚、□現場制作 P C 橋、□床版

- ☐ 水門・樋門
☐ ブロック製作、ケーソン製作
☐ 覆工 Co の前段工事
☐ その他【

3) その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

- ☐ 桁の仮組立
☐ 水門扉、☐ 可動堰、☐ スノーシェッド、☐ ポンプ施設、☐ 除塵機、☐ 棧橋
☐ 堰堤 (Co、盛土)
☐ 堰 (工場制作)、ラバーダム
☐ 地盤変動等の影響が予想される掘削
☐ 仮橋、路面覆工 (一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
☐ 仮堤防 (本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
☐ その他【

□ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備 考

□ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

☐ 11 用地取得及び支障物件

☐ 1) 工事区域内の用地確保 (☐ 済 ・ ☐ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

☐ 2) 工事支障物件 : ☐ 有 ・ ☐ 無

【支障物件移転予定時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

☒ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、 月末 に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☐ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は 各現場 に 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☒ 14 作業工程

1) 全ての 作業は、 昼間 とし、時間帯は 8 時 ~ 17 時までとする。

2) 作業工程における注意事項 :

3) 現道の使用規制について

現道は、 により本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☐ 無 年 月 日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☐ 無 : ~ :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ に適用する。

☐ 15 仮設

☐ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無

☐ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
------	----------	-------	----

□ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名 : _____ 数量等 : _____

存置期間 : _____

□ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計 上 費 目	実施する 項 目 数	実 施 す る 内 容 (率 計 上 分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	用水・電力等の供給設備 緑化・花壇 ライトアップ施設 見学路及び椅子の設置 昇降設備の充実 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 労働者宿舍の快適化 デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 現場休憩所の快適化 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 盗難防止対策(警報器等) 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	()	完成予想図 工法説明図 工事工程表 デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 パンフレット・工法説明ビデオ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 社会貢献

☑ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 1 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)

本工事は、「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

(六価クロム溶出試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

(タンクリーチング試験対象工種及び検体数)

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

☒ 第 1 1 章 材 料☒ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。☐ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

☒ 2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考
再生クラッシャラン	RC-40	基礎碎石	
クリンカアッシュ		管路埋戻し	

再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離 4 0 km の範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

☐ 2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

☐ 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定

的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第 1 2 章 一 般 施 工

☑ 1 建設発生土の処理

□ 1) 他工事への流用： □ 有 ・ □ 無

工事名：_____ 路河川名：_____

施工場所：_____市・郡_____町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____ km

☑ 2) 搬出先

受入場所：_____南相馬市原町区泉字前向 527

運搬距離 _____ 1.2 _____ km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□ 2 他工事からの流用土

□ 1) 他工事からの流用： □ 有 ・ □ 無

工事名：_____ 路河川名：_____

指定・施工場所：_____市・郡_____町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬の有無： □ 有 ・ □ 無 （ _____ km ）

品 質：_____

品質の確認試験（ _____ ）については、 _____ で実施する。

☑ 3 購入土等

☑ 1) 購入土等の有無： ☑ 有 ・ □ 無

□ 2) 購入土等の種類：☑購入土 ・ □岩ズリ ・ □その他（ _____ ）

□ 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□ 4) 購入土等が 1 工事あたり 1 , 0 0 0 m³ 以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□ 4 建設汚泥（泥土）の処理

- 1) 汚泥（泥土）は、_____による改良を行い、_____として再利用する。
- 2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における_____とする。
- 3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。
なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。
- 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□ 5 レディーミクストコンクリートの養生

- 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	□ 普通ポルトランドセメント
	□ 高炉セメント B 種 ¹⁾ □ 混合セメント B 種 □ フライアッシュセメント B 種 □ シリカセメント B 種
	□ 早強ポルトランドセメント
気象条件	□ 暑中コンクリート(日平均気温が 25 を超える場合)
	□ 寒中コンクリート(日平均気温が 4 以下になる場合) □ 連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態 水で飽和される部分 ²⁾ □ 普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しびき等のため水で飽和される部分。

□ 6 塗装工

- 1) 塗装回数は下塗_____回、中塗_____回、上塗_____回とする。
- 2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り 1 層		
	下塗り 2 層		
現場塗装	中塗り 1 層		
	中塗り 2 層		

	上塗り1層		
	上塗り2層		

☐ 3) 素地調整(ケレン)は_____とする。

☐ 4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

☐ 7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

☐ 1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

☐ 2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

☐ 第13章 その他施工

☐ 1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

☐ 2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

☐ 3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

☐ 4 ポリマー改質 型アスファルト混合物の使用 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕(延長200m以上の全層打ち換え)を行う工事でポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質 型アスファルト混合物を

使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位1日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位1ミメートルにつき回)	該当欄
第1種、第2種	3,000 以上	3,000	
第3種第1級及び第2級	3,000 未満		
第4種第1級		1,500	
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

- ☒ 5 植栽工 植栽に係る直接工事費が50万円以上となる工事の場合に記載
本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。
また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

☐ 6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

☐ 第14章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針の△印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

☐ 1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ☐ 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ☐ 右利き、左利きに対応した施設
- ☐ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ☐ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ☐ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ☐ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ☐ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ☐ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ☐ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ☐ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ☐ 利用者に不自然な姿勢を強いけない施設
- ☐ プライバシーに配慮された施設
- ☐ 天候や季節に左右されない施設
- ☐ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針 2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ☐ 使い方を直感的に理解できる施設
- ☐ 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ☐ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針 3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐ 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐ 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐ 危険な部分が防護されている施設
- ☐ 四季を通じて安全な施設
- ☐ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針 4 さりげなく 美しい 施設

- ☐ 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐ 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針 5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐ できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐ 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐ 2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐ 第 15 章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- ☐ 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- ☐ 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

□ 第 16 章 1 日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が 1 日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1 日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□ 第 17 章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、 工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）
（なお、積算上の親工区は、 工区（施工箇所○○）とする。）

□ 第 18 章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□ 第 19 章 ICT 活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事の発注方式は（ □ 受注者希望型 ・ □ 発注者指定型 ）である。

□ 2 ICT 活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（土工）」の対象工事である。

□ 3 ICT 活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（舗装工）」の対象工事である。

□ 4 ICT 活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

□ 5 ICT 活用工事（土工 1,000m³ 未満）

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（土工 1,000m³ 未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（土工 1,000m³ 未満）」の対象工事である。

□ 6 ICT活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

□ 第 2 0 章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□ 第 2 1 章 「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

☑ 第 2 2 章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

）作業不能日数：7 日間

）上記 ）は、環境省が公表する東北地方浪江（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去 5 年分（令和 2 年～6 年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3 日）を除く。）において、8 時から 17 時の間に WBGT 値が 31 以上となった時間を算定し、日数に換算したもの 5 年分を平均したものの。

）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方浪江（福島）地点における WBGT 値が 31 以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下 第一位を四捨五入する。））が ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第 2 3 章 法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

（1）大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度 5 弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度 4 の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

休工中であれば、必要に応じ 2 名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。

天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。

危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2 次災害防止に努める。

警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。

地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。

異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、F A X 又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後 1 時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

地震発生後 1 時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

異常気象時等現場点検結果報告書（例）

- 19 -

第 2 5 章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第 2 6 章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

- 1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

- 2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（ 技術管理課ホームページ参照 ）の交付を求め、その写しを 5 年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第 9 条の規定によるものとする。（ 試行要領は技術管理課ホームページ参照 ）
- 4 受注者は、土壤汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

~~第 2 7 章 三者協議~~

本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。

~~第 2 8 章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。

記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事
令和〇年〇月〇日まで 時間帯〇:〇〇～〇:〇〇
河川(交付)工事(開削)
発注者 福島県〇〇建設事務所 〇〇課 施工者 〇〇〇〇建設株式会社 電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

☑第29章 そ の 他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

(2) 農地法許可手続について

資材置場、現場事務所、残土捨場等に農地を転用する場合は、農地法の許可を得ること。

(3) 建設リサイクル法関連

落札者は、説明書（様式7（法12条第1項関係）及び別表）の提出・説明を速やかに行うこと。契約後は法第11条の規定に基づき、再生資源利用「促進」計画書を作成の上、COBRISに登録し、発注者へ通知すること。工事完了時には、再生資源利用「促進」実施書をCOBRISへ登録、紙面提出を行うこと。また、法第18条第1項の規定により、再資源化等報告書を発注者へ提出すること。